

金属製屋根材 アイジールーフ
スーパーガルテクト

スーパーガルテクトフッ素・スーパーガルテクト・スーパーガルテクトC

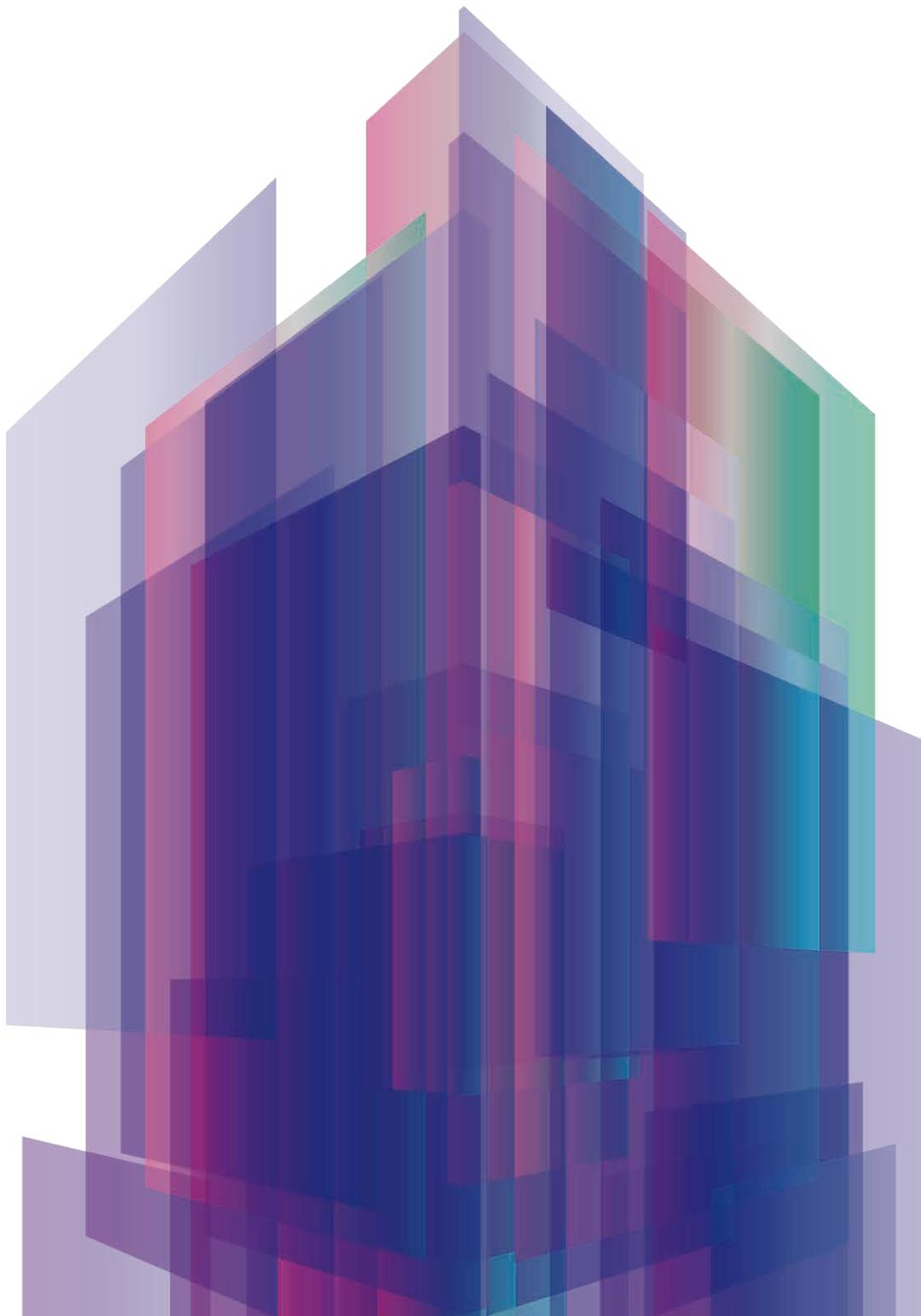


2022
vol.1
CATALOG



IG KOGYO

まっすぐに、建物を包むチカラ。



CONTENTS

金属製屋根材 アイジールーフ
スーパーガルテクト
2022 vol.1

03 新着情報

■ スーパーガルテクトの性能

05 高い耐久性

07 抜群の快適性

09 優れた安全性

■ アイジーリフォーム

11 アイジーリフォームとは

13 部位別使用部材一覧

15 アイジーリフォーム施工概要

■ 施工事例

27 リフォーム施工事例

33 新築施工事例

■ 商品紹介

35 スーパーガルテクトフッ素

スーパーガルテクト

スーパーガルテクトC

37 部材

■ 設計資料

40 認定取得範囲

取得認定

41 適用地域一覧

42 マンセル値(測定値)と日本塗料工業会色票番号(近似値)
物性値

■ 施工資料

43 下地について

本体形状図

44 参考納まり図 改修

50 参考納まり図 新築

54 取り扱い時のお願い

56 免責事項

57 製品保証

59 維持管理について

62 太陽光パネルの設置について



金属製屋根材
スーパーガルテクトシリーズの開発が
令和4年度
文部科学大臣表彰
「科学技術賞」

を受賞しました。 特許 第5022662号



令和2年度の全国発明表彰に続いたの受賞です！

NEW

従来の高い質感と
意匠性を
更に際立たせる。

新たな彩り。

スーパーガルテクト 新色「Sシェイドワインレッド」発売

新色を動画で見る
アイジー公式YouTube



超高耐久
ガルパ

遮熱性ポリエステル
樹脂塗膜

塗膜
15年
保証

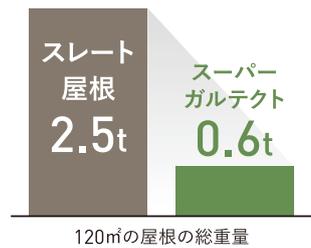
赤さび
20年
保証

穴あき
25年
保証



自然災害にそなえて 金属屋根への リフォームが急増中！

大きな地震が頻発する中、金属屋根リフォームを選ばれる施主様が増えています。金属屋根はスレート屋根よりずっと軽く、地震の揺れを増幅させません。剥離・落下もなく、カバー工法に最適なことも選ばれる理由のひとつです。



スーパーガルテクト
シリーズ

商品ラインナップ

詳しくはP35をご覧ください

2022年9月1日 販売再開予定

スーパー ガルテクト[®] フッ素

遮熱性フッ素樹脂塗装で
塗膜変褪色20年保証を実現した
スーパーガルテクトフッ素。



スーパー ガルテクト[®]

卓越した質感を誇る特殊な
「ちぢみ塗装」を採用した
スーパーガルテクト。



スーパー ガルテクト[®] C

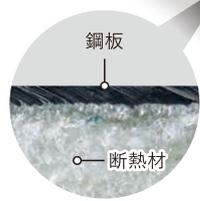
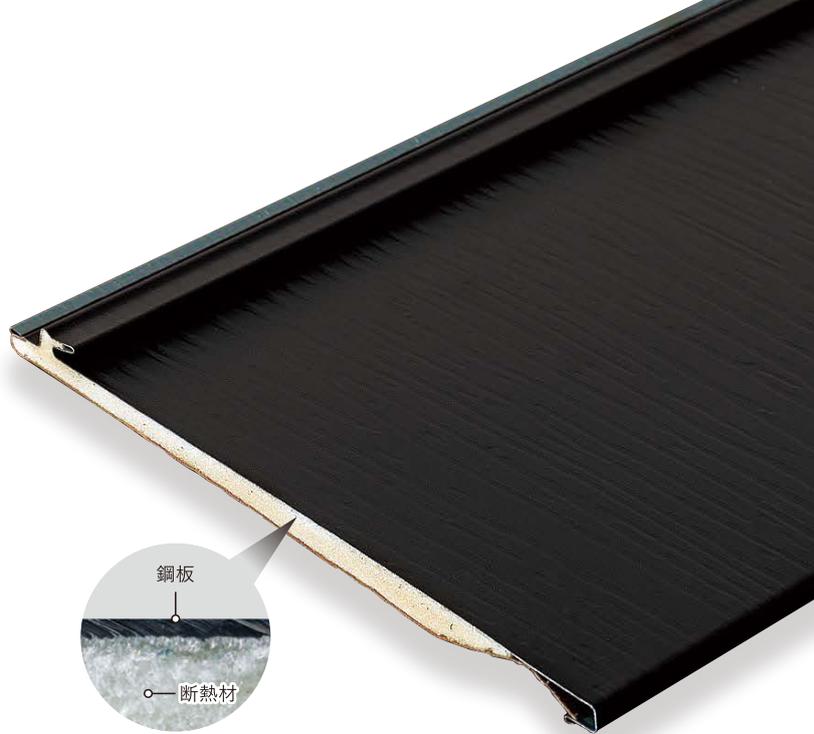
手狭な現場でも扱いやすい
コンパクトな
スーパーガルテクトC。



高い耐久性

屋根材に最適な
「超高耐久ガルバ」を
全商品に採用。

超高耐久ガルバとは「2%マグネシウム-55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板」です。ガルバ鋼板（55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板）にマグネシウムを2%添加することにより、めっき層を強化しました。



腐食に強い「超高耐久ガルバ」なら、 海岸線近くでも使用できます

超高耐久ガルバの採用により、スーパーガルテクトシリーズは穴あき25年保証*を実現しました。保証対象地域は海岸線より500m以遠までとなり、幅広い地域でご使用いただけます。

*登録いただいた建築物に対し、保証規定に基づいて保証致します。(元請業者様に対して保証を実施しています。)詳しくはP58の保証規定を確認してください。

■保証期間

対象製品 保証内容	スーパーガルテクト フッ素	スーパーガルテクト スーパーガルテクトC
塗膜の変色 塗膜の白亜化	20年	—
塗膜のひび・われ・ はがれ・ふくれ		15年
赤さび	20年	20年
穴あき	25年	25年



スーパーガルテクトは保証対象地域が広い!

酸にもアルカリにもバランス良く

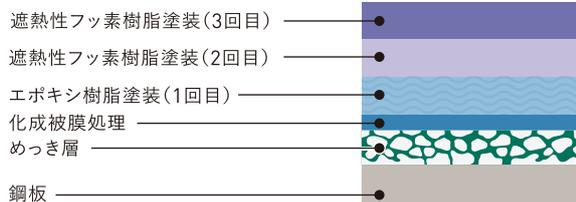
マグネシウムを含む超高耐久ガルバは、酸・アルカリに対する耐久性のバランスが良く、厳しい環境下でも優れた耐久性を発揮します。

美しさ長持ち、高耐久な2タイプの焼付け塗装

スーパーガルテクトフッ素

■塗装の特長

3コートの塗膜構成で、
耐久性が高く色褪せにくい



塗膜断面図

スーパーガルテクト スーパーガルテクトC

■塗装の特長

特殊なちぢみ塗装で
高級感あふれる質感を実現

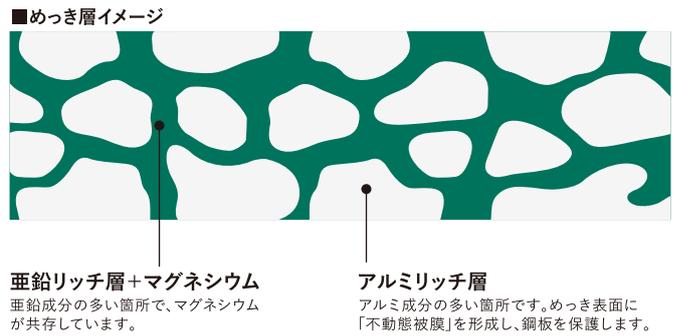


塗膜断面図

強さの秘密はマグネシウム

2%のマグネシウムでめっき層を強化

超高耐久ガルバのめっき層は、粒状のアルミリッチ層を亜鉛リッチ層が網目状に取り囲んでいる構造になっており、マグネシウムは亜鉛リッチ層と共存しています。めっきに含まれる亜鉛、アルミニウム、マグネシウムは最もバランスよく機能する組成となっており、特に厳しい腐食条件下でより優れた耐久性を発揮します。



スーパーガルテクトのめっき組成の構成比

アルミニウム
55%

亜鉛
41.4%

マグネシウム
2%

シリコン
1.6%

耐久性が高く腐食に強い組成バランス

保護皮膜を強くするマグネシウム

亜鉛は、鉄がさびる前に自ら酸化物・水酸化物などになり鋼板を保護します。これを「犠牲防食作用」と呼びます。さらにこの酸化物・水酸化物などは保護被膜として機能します。超高耐久ガルバは、亜鉛リッチ層にマグネシウムを共存させることで、より緻密で水に溶けにくい保護被膜を形成することが可能となりました。この効果により、亜鉛リッチ層の消耗が抑えられるため「犠牲防食作用」が長期にわたり確保されます。

亜鉛が溶解して酸化保護被膜を作り、腐食を防ぐ

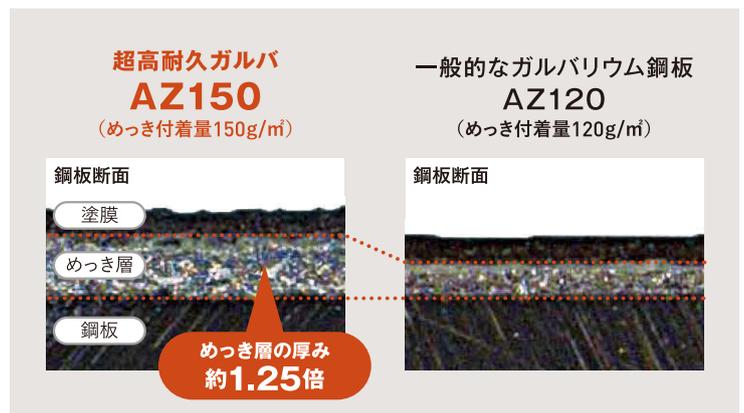
■「犠牲防食作用」のイメージ



さびから守る

AZ150でめっき層が厚く 耐久性が高い

超高耐久ガルバのめっきは、AZ150（めっき付着量150g/m²）を採用しています。一般的なガルバリウム鋼板のAZ120（めっき付着量120g/m²）に比べ、めっきの付着量が多く、鋼板断面を比較してもAZ150はめっき層が厚いことがわかります。めっき層が厚いため鉄（鋼板）をさびから守り、高い耐久性を発揮します。



抜群の快適性

遮熱・断熱のWパワーで快適空間を実現

遮熱性塗装を施した
超高耐久ガルバ

超 **高耐久**
ガルバ

裏面に表面材が出ない形状設計で、屋外からの熱を通しにくく、高い断熱性を発揮します。

断熱性・防火性に優れた
ポリイソシアヌレートフォーム
複雑なかん合部まで断熱材を充てんしています。

アルミライナー紙
小屋裏の湿気を通しにくい特殊な紙。

抜群の遮熱性・断熱性を発揮する材料構成と形状！

遮熱性塗装による遮熱効果

表面塗装に採用の「遮熱性フッ素樹脂塗装／遮熱性ポリエステル樹脂塗装」により、大きな遮熱効果を発揮します。太陽光の中には様々な波長の光が含まれており、その中には、熱エネルギーに変換されやすい赤外線が約50%含まれています。遮熱性塗装は赤外線の反射特性が大きい着色顔料を使用しており、日射による鋼板温度の上昇を抑制します。

■遮熱性塗装鋼板の拡大イメージ
遮熱塗料に含まれる着色顔料が赤外線を反射し、熱の侵入を防ぎます。

着色顔料
塗膜層
めっき層
鋼板

赤外線

反射熱 多い

侵入熱 少ない

遮熱効果のある塗装鋼板屋根

反射熱 少ない

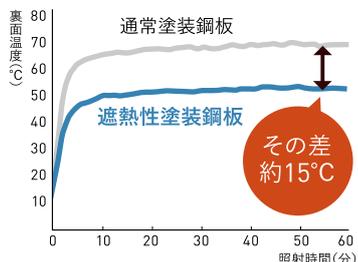
侵入熱 多い

遮熱効果のない塗装鋼板屋根

遮熱・断熱のWパワーで、熱の侵入を防ぐため、部屋の中が暑くなりにくい効果があります。少ないエネルギーで室内を快適に保つことができます。

簡易遮熱試験結果

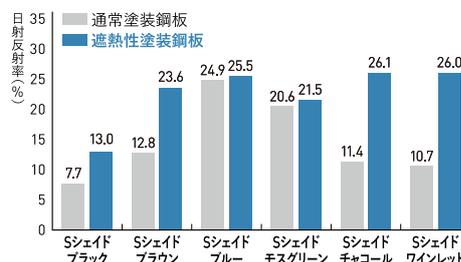
遮熱性塗装鋼板と通常塗装鋼板にランプにより熱を与え、裏面温度の違いを測定しました。60分の照射で約15°Cの温度差が発生します。



◎測定条件／室温：19°C、測定箇所：鋼板表面、ランプの高さ：15cm、照射時間：60分 ※弊社社内試験による参考値で、性能を保証するものではありません。

日射反射率測定結果

同系色の遮熱性塗装と通常塗装に光を当てたときの日射反射率の違いです。特に、熱の吸収をしやすい濃色(Sシェイドブラック・Sシェイドブラウン・Sシェイドチャコール)で、日射反射率の違いに大きく差が出ます。

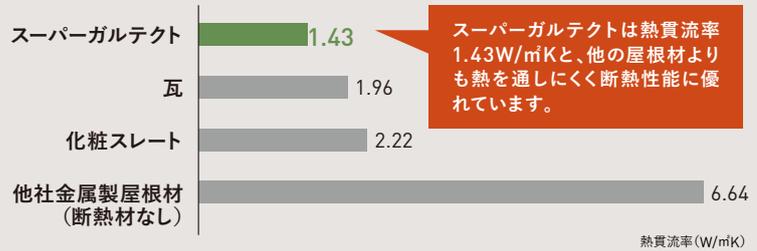


高品質の断熱材と独自のかん合形状で高い断熱性を実現

しん材に採用した「ポリイソシアヌレートフォーム」が抜群の断熱性能を発揮します。ポリイソシアヌレートフォームは、断熱材の中でも優れた断熱性能を持っています。

他の屋根材との断熱性比較

スーパーガルテクトは化粧スレートや瓦よりも熱を通しにくい結果が出ています。「熱の伝えやすさ」を表す熱貫流率は、数値が小さいほど断熱性能が優れています。
 ◎熱伝導率から計算した算出値です。



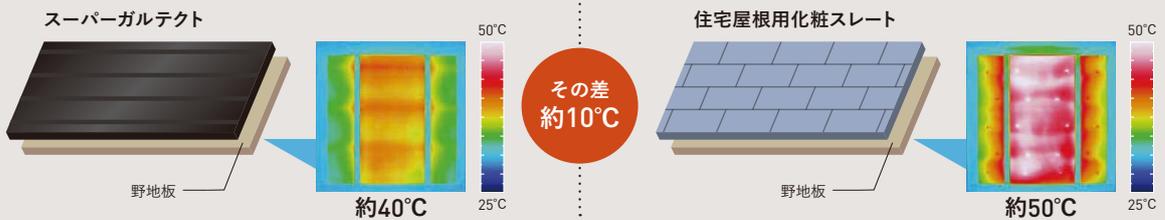
スーパーガルテクトは熱貫流率 1.43W/mKと、他の屋根材よりも熱を通しにくい断熱性能に優れています。

屋根裏面温度の測定結果

実際の屋根を再現した模型に人工太陽を照射し、温度が安定した状態（80分経過後）に屋内側の野地板をサーモカメラで撮影した結果です。新築とリフォーム、同様の金属屋根材と比較しても、スーパーガルテクトは断熱性に優れていることがわかります。

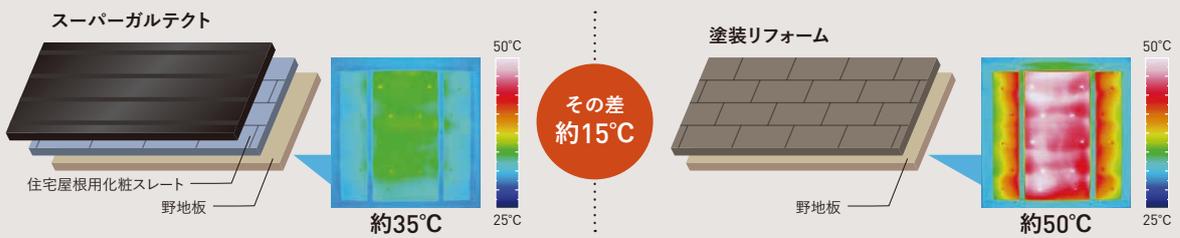
新築で比較

●スーパーガルテクトと住宅用化粧スレートを使用した場合の、野地板裏温度の比較です。

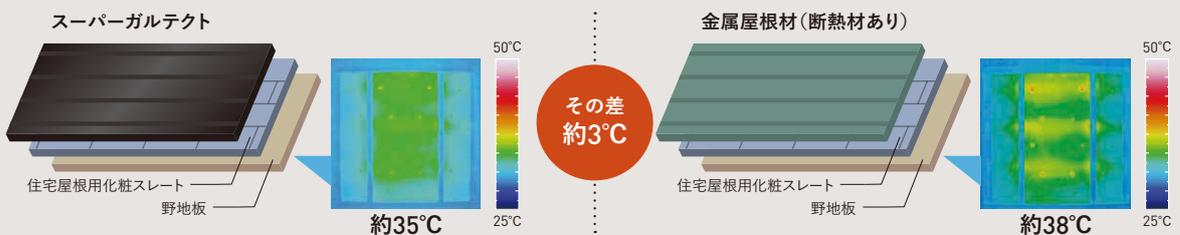


リフォームで比較

●住宅屋根用化粧スレートを、スーパーガルテクトでカバー工法する場合と塗装で改修する場合の比較です。



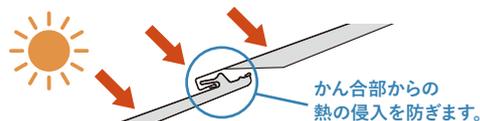
●住宅屋根用化粧スレートを、スーパーガルテクトと他社金属屋根材（断熱材あり）でカバー工法で改修する場合の比較です。スーパーガルテクトは、かん合部に充てんした断熱材と裏面に熱橋がない形状により、熱を通しにくくなっています。



◎弊社社内試験による参考値で、性能を保証するものではありません。

複雑なかん合部まで断熱材をしっかり充てん!

かん合部まで断熱材が充てんされているので鋼板と野地板が接触せず、熱が伝わりにくくなります。独自の成形技術と断熱性能で、屋根裏への熱の侵入を防ぎます。



優れた安全性

軽量な金属屋根は安全・安心!

スーパーガルテクトは1㎡あたり5kgで、スレート屋根に比べて約1/4、和瓦屋根に比べて約1/10と超軽量です。さらに金属製のため、地震時の「割れ」の心配がありません。

動物に例えるとこのような重量差になります。
[120㎡の屋根と想定した場合]



屋根の総重量
約600kg
[馬1頭分]



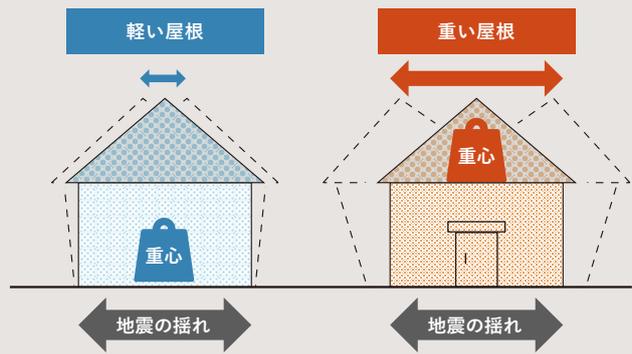
屋根の総重量
約2,500kg
[カバ1頭分]



屋根の総重量
約6,000kg
[アフリカゾウ1頭分]

地震の揺れのイメージ

地震による建物への負荷は、建物の重量に比例して増大します。特に屋根は建物の柱・梁・壁に支えられ、建物の一番上部に位置しています。この屋根が重ければ重いほど、建物の躯体にかかる負担は大きくなります。さらに、屋根が重いと建物の重心が高くなるため、地震時の建物の揺れ幅がより大きくなります。軽量なスーパーガルテクトを使用した場合、建物の重量も軽くなり重心位置も低くなるため、揺れ幅が小さくなります。また、建物の柱や梁などの躯体にかかる負担も低減できます。



軽量なので施工も楽々

スーパーガルテクトは施工現場での取り回しにおいて、他材料に比べて優位性を発揮します。働き長さ2,960mmの本体1枚あたりの重さが約4kgと軽量なため、現場での施工が簡単です。さらに「スーパーガルテクトC」はスーパーガルテクトの短尺タイプで、狭小地の現場でも扱いやすい長さです。

スーパーガルテクト フッ素スーパーガルテクト

1枚あたり 約4kg

スーパーガルテクトC

1枚あたり 約2.4kg

コンパクトなスーパーガルテクトCなら狭小地も軽トラックですいすい搬入!



■狭小地の急勾配な住宅での不安定な体勢の施工例
スーパーガルテクトCはコンパクトサイズで軽量です。施工が困難な狭小地でも簡単に施工することができます。

365日安心な性能

耐風性能

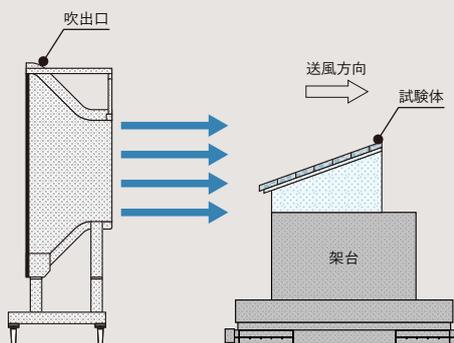
屋根の模型に強風を3分間当てる実験を行いました。
最大風速65m/sにおいて、スーパーガルテクト本体は飛散しませんでした。

■強風実験結果

風速	20m/s	30m/s	40m/s	50m/s	60m/s	65m/s
結果	飛散なし					

下地条件 / アスファルトルーフィング940、耐水合板12mm、たる木(間隔455mm)

■強風実験イメージ



■一般財団法人建材試験センター中央試験所にて

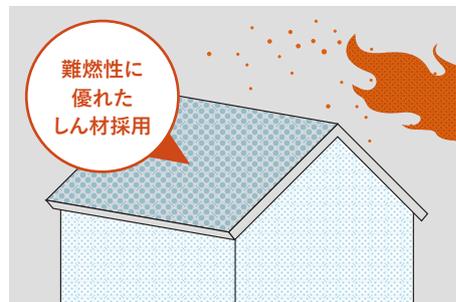
※この強風実験結果は、左記実験条件での性能です。下地の状態、屋根形状、勾配、風の向きなどにより強風性能は変わります。いかなる自然状況や施工状況においても異常が発生しないことを保証するものではありません。静的耐風圧試験結果はP42の物性値「耐風圧性能」の数値通りです。

防火性能

飛び火性能認定番号 DR-1977 (1)

(屋根勾配: 2.5~27.5寸適応)

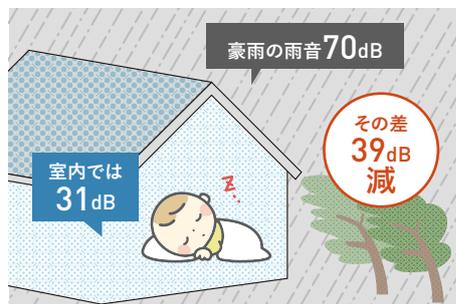
しん材に採用している「ポリイソシアヌレートフォーム」は、燃焼時に表面が炭化し燃焼の拡大を防止する、自己消火性を備えているため、一般的なウレタンフォームに比べて、発熱量、発熱速度が小さく難燃性に優れています。さらに飛び火性能認定も取得し、安全性も兼ね備えています。



遮音性能

実際の屋根を再現した模型に人工降雨機で雨を降らせ、屋外と室内にそれぞれ設置したマイクにて雨音を測定しました。鋼板とポリイソシアヌレートフォームの一体化により、雨量106mm/hの豪雨の雨音も、室内ではささやき声程度の雨音へと低減します。

天井: 化粧せっこうボード厚さ9mm+グラスウールマット25mm(16kg/m²品)使用時の場合



水密性能

本体同士の横ジョイント部には、排水機構とリップ付き折り返しを設け、雨水の浸入をシャットアウトします。



アイジーリフォーム
(カバー工法)で

屋根だけでなく暮らしも
快適に生まれ変わります



リフォームのサイン

このような状態になる前に、リフォームをご検討ください



色褪せ

風雨、紫外線などにより、塗膜の表面が劣化して起こる現象



カビ・コケの発生

屋根表面が劣化し、雨水が染み込むことで発生する現象



ひび割れ

水分付着と乾燥の繰り返しや、地震による揺れが原因で起こる現象



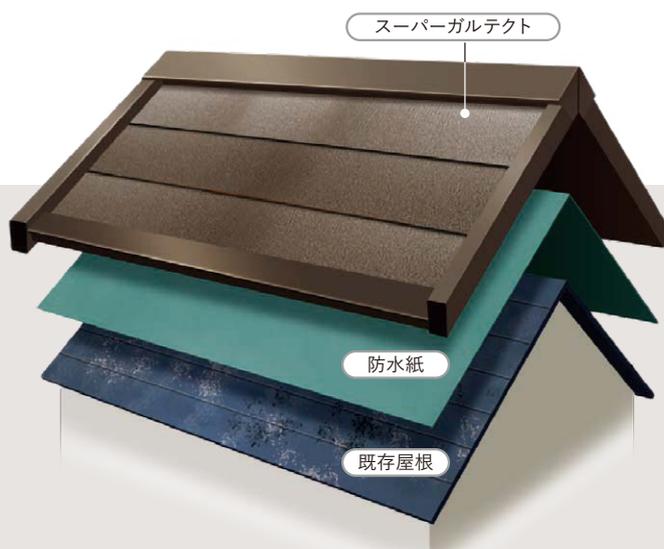
放っておくと建物の
躯体自体が
大変な状態に!

リフォームの種類

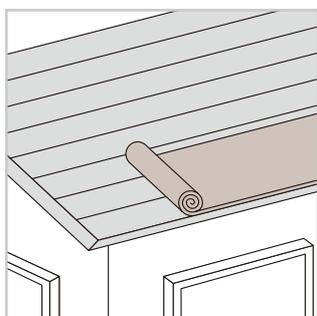
リフォームの種類	塗装リフォーム 既存屋根を塗装	葺き替えリフォーム 既存屋根を撤去し、新しい屋根材を施工	アイジーリフォーム(カバー工法) 既存屋根に重ねて、新しい屋根材を施工
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 工期が短い リフォームの初期費用は安価で経済的 	<ul style="list-style-type: none"> 新築同様の見栄え 外観のイメージチェンジが可能 屋根内部の点検ができる 材料によっては軽量化できる 	<ul style="list-style-type: none"> 新築同様の見栄え 外観のイメージチェンジが可能 既存屋根の撤去・処分費が不要 二重の防水効果と断熱性アップ 住みながらの工事が可能で引っ越し不要
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 数年後に再塗装・補修が必要な場合があるので、長い目でみると費用が割高 屋根材自体が劣化している場合、塗り替えができない 外観のイメージチェンジが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 既存屋根の撤去・処分費が発生するため、「塗り替え」「カバー工法」に比べて費用がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> 凹凸の大きい屋根には施工不可

アイジーリフォームとは？

既存屋根の上に防水紙を貼り、その上にスーパーガルテクトを施工する「カバー工法」です。カバー工法は塗装リフォームより長持ちし、既存屋根を撤去する費用もかからないので、葺き替えよりコストを削減できます。

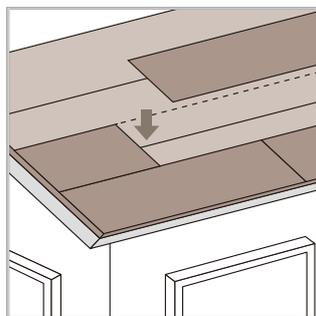


アイジーリフォームの手順



Step 1

既存のスレート屋根の上から防水紙を貼ります。



Step 2

防水紙の上にスーパーガルテクトを施工します。

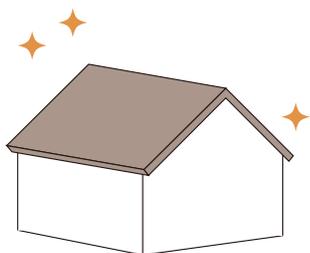


Step 3

完成!

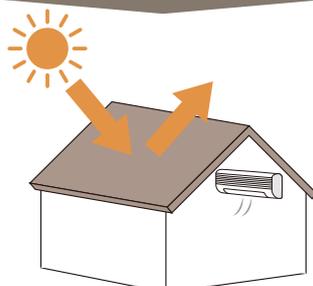
きれいで快適に、お得にリフォーム

美しさ長持ち
でお得!



金属だからカビ・コケが生えず、ひび割れもありません!

暑い夏も快適
でお得!



遮熱性と断熱性能に優れているので、夏の部屋の暑さも解決します!

20年間楽々手間なし
でお得!



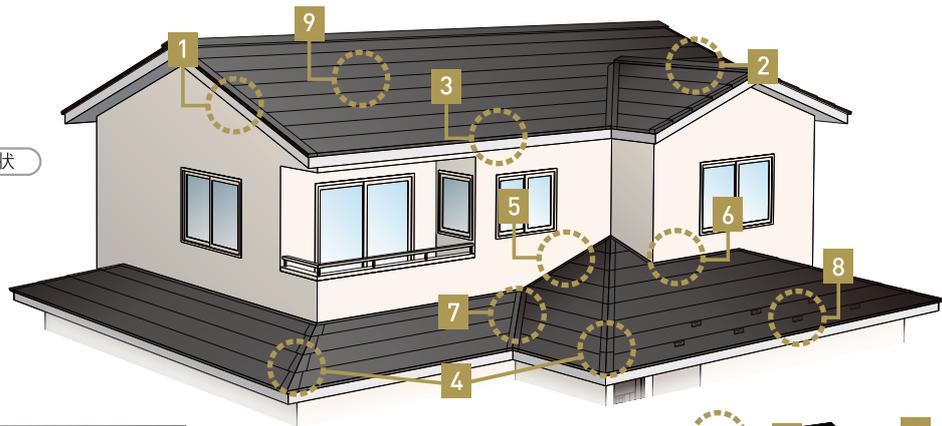
長期的に見てメンテナンス費用がとてもお得です!

※スーパーガルテクトフッ素を想定

リフォーム後のことも考えると、アイジーリフォームはとってもお得です!

部位別使用部材一覧

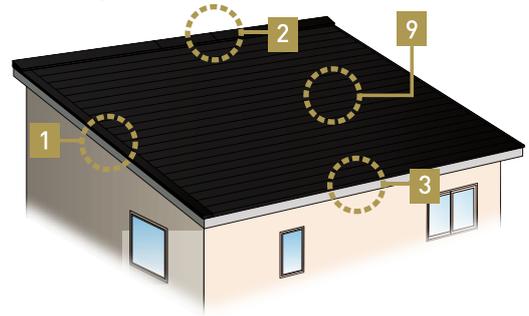
スーパーガルテクトは、意匠性と施工性に優れた専用部材を豊富にラインナップしています。



1 ケラバ部

ケラバ下地D	ケラバキャップD
併用	
段葺きのデザインを生かした部材で、高級感ある仕上がりを実現します。	

片流れ屋根形状



ケラバ水切	ケラバ水切エンド	ケラバ水切エンド (左)	改修用ケラバ水切100	ケラバ水切エンド (右)	ケラバ面戸
軒先から棟まで通して簡単に施工できます。軒先にはケラバ水切エンドの使用も可です。		見付幅が100mmあるので、既存ケラバ水切を覆うことができ、継ぎ加工などの施工が簡便で美しい仕上がりとなります。ケラバ水切100エンドは左用・右用を用意しています。		ケラバ部の止水性をより高めます。	

2 棟部(切妻・寄棟屋根形状)

棟・隅棟包みD	棟巴	換気棟	換気棟用エンドキャップ	換気棟L	平型面戸
スーパーガルテクト・スーパーガルテクトC専用		併用		併用	
		下地・捨水切同梱		下地・捨水切同梱	
屋根裏の空気を排出するための部材で、長さ1,130mmの換気棟と、長さ1,830mmの換気棟Lを用意しています。屋根形状や施工手順に合わせてお選びください。端部は換気棟用エンドキャップで納めてください。					

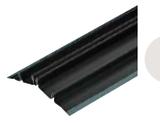
2 棟部(片流れ屋根形状)

片流れ用棟包み	片流れ用換気棟	片流れ換気用水切	平型面戸
併用			
片流れ換気用水切・固定ビス・捨水切同梱			
片流れ屋根形状に対応した棟部の部材です。下がり部の面に段差をつけることで、くぎ打ちによる歪みを軽減し、屋根形状に合わせてすっきりと納められます。片流れ換気用水切は、片流れ換気棟と片流れ用棟包みを併用する際に使用します。			

3 軒先部

改修用唐草D	改修用唐草SB	改修用一体唐草16	改修用一体唐草29
			
既存の屋根と軒先の位置が揃うので見栄えが良くなります。	雨樋の取り付け位置の変更が不要です。	既存軒先水切が隠れます。	既存軒先水切が隠れ、比較的厚いスレート屋根や合板下地に対応します。

4 隅棟部

差し棟下地D	差し棟キャップD	棟・隅棟包みD	剣先	剣先120	C型捨板	平型面戸
						
段葺きのデザインを生かした部材で、高級感ある仕上がりを実現します。	併用	軒先から棟まで通して簡便に施工できる部材です。剣先120は垂れが長く、隅棟の頂点部(唐草の加工部)を覆うため、隅棟のラインが強調された仕上がりになります。また、サイズ(全長・面幅)を見直したことで、施工性がアップしました。			本体立ち上げ加工を省くことができ、施工性と止水性を向上させます。	

5 流れと平行な壁

壁押えD(Ⅱ)	改修用壁押えD(Ⅱ)	改修用壁押えカバー	段付面戸D	L型捨板	C型捨板
					
		壁押えと併用することで、見栄えや止水性を向上させるカバー専用部材です。			本体立ち上げ加工を省くことができ、施工性と止水性を向上させます。

6 流れと垂直な壁

壁押えD(Ⅱ)	改修用壁押えD(Ⅱ)	改修用壁押えカバー	平型面戸
			
		壁押えと併用することで、見栄えや止水性を向上させるカバー専用部材です。	

7 谷部

谷樋D(Ⅱ)	改修用谷止縁	平型面戸
		

8 雪止め

雪止めGT(Ⅲ)ハネタイプ


9 本体留め付け部

ルーフ用ビス4×55

本体の野地板留め用ビスです。

アイジーリフォーム施工概要

STEP 01

下地の確認、工法の決定

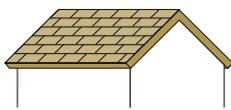
既存屋根の状態を確認し、リフォームする工法を決定します。
この際、既存屋根の破損状況、反り、腐朽などから下地の強度を確認してください。

1-1 下地の確認

既存屋根を撤去しない

例えばこんな屋根

- ・住宅屋根用スレート
- ・鉄板平葺
- ・アスファルトシングル

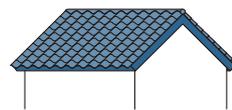


住宅屋根用スレートの場合、既存の棟・棟包み・各受木など、段差がある部材は取り外してください。

既存屋根を撤去

例えばこんな屋根

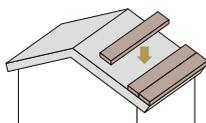
- ・瓦屋根
- ・凹凸の大きい屋根材



瓦屋根など、凹凸の大きい屋根材は撤去してください。

1-2 工法の選択

カバー工法



- 既存屋根の上からスーパーガルテクトを施工します。既存屋根の納まりによって、部材を選定してください。
- 厚みのある住宅屋根用スレートにもご使用いただける専用部材も用意しております。

改修用一体唐草16

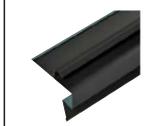


STEP 02

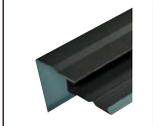
2-1

軒先部 … P16

改修用一体唐草29



改修用ケラバ水切100

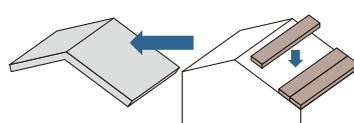


STEP 04

4-1

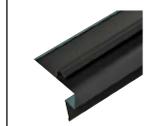
ケラバ部 … P18

葺き替え



- 既存屋根を撤去し、野地板の上からスーパーガルテクトを施工します。
- 瓦などの厚みのある屋根材を葺き替える際にもご使用いただける専用部材も用意しております。

改修用一体唐草29



STEP 02

2-1

軒先部 … P16

改修用壁押えカバー



STEP 05

5-5

流れと垂直な壁部 … P23

5-6

流れと並行な壁部 … P23

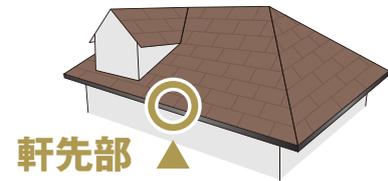
詳細は各ページをご覧ください

STEP 02

改修用唐草の取り付け

既存屋根と軒先の状況に合わせ、①～④いずれかの唐草を選定し施工してください。

2-1 軒先部



納まり例 ①

雨どい	取替・位置調整が必要
軒先の位置	変化なし
既存水切	隠れない

雨どいの位置が変わるため、雨どいの位置調整が必要になります。

改修用唐草D



納まり例 ②

雨どい	取替・位置調整なし
軒先の位置	変化あり
既存水切	隠れない

軒先の位置が高くなるため、雨どいの位置を変更せずに本体を施工できます。

改修用唐草S B

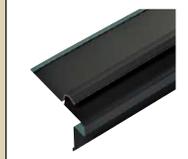


納まり例 ③

雨どい	取替・位置調整なし
軒先の位置	変化あり
既存水切	隠れる

一般的な住宅屋根用スレートのカバー工法にご使用いただけます。

改修用一体唐草16

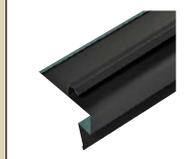


納まり例 ④

雨どい	取替・位置調整なし
軒先の位置	変化あり
既存水切	隠れる

厚みのある住宅屋根用スレートの場合や、合板を増し張りする場合にご使用いただけます。

改修用一体唐草29



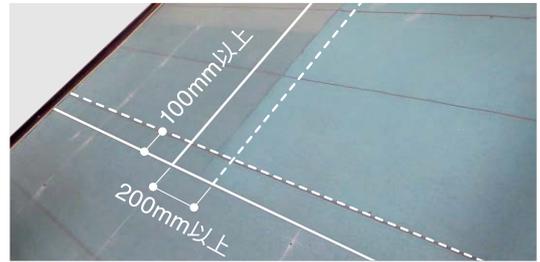
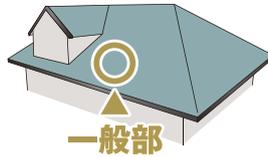
STEP 03

下葺き材の施工

アスファルトルーフィング940同等以上を全面に施工してください。本体を野地板留めする場合は、指定下葺き材を施工してください。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

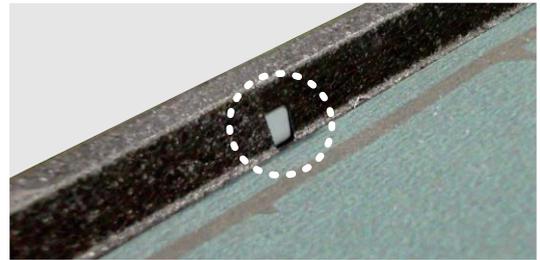
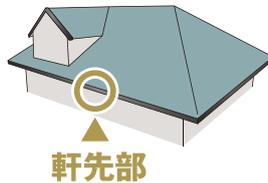
3-1 一般部

一般部の下葺き材の重ね代は、流れ方向100mm以上、水平方向200mm以上としてください。



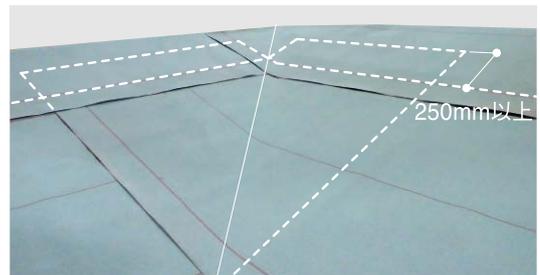
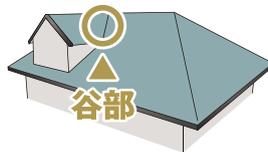
3-2 軒先部

唐草の水抜き穴を下葺き材でふさがないように注意してください。



3-3 谷部

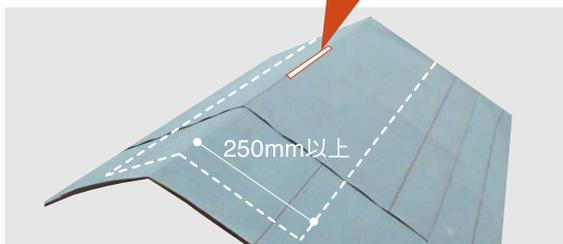
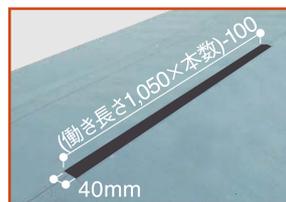
下葺き材は谷の中心に合わせ、片側250mm以上ずつつ重ねて施工してください。



3-4 棟部

切妻屋根

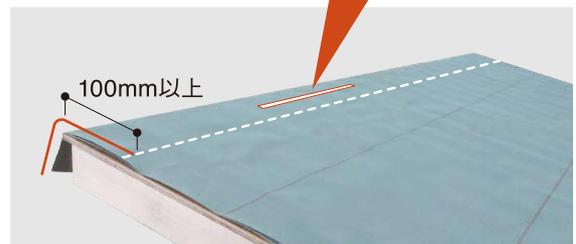
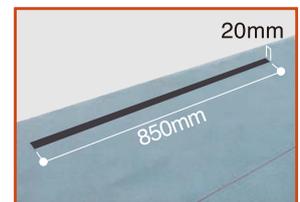
①換気棟を設置する場合は換気棟の本数に合わせて開口を設けてください。



②棟の頂点から片側250mm以上ずつつ重ねて施工し、増し張りを行ってください。

片流れ屋根

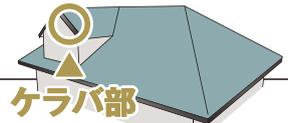
①片流れ用換気棟を設置する場合は、勾配によって開口の位置が異なるので、施工説明書に沿って開口を設けてください。



②棟の頂点は、一般部と下がり部それぞれ100mm以上ずつつ増し張りを行ってください。

STEP 04

部材の取り付け(本体施工前)



4-1 ケラバ部

①～③いずれかのケラバ部の納まりを選定し施工してください。

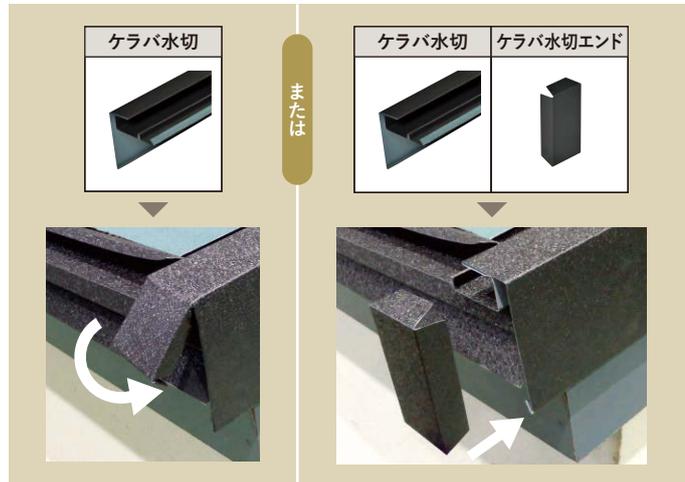
本体施工後は
こちらをご覧ください

STEP 6-1
ケラバ部 … P24

納まり例 ①

ケラバ水切を使用する場合は、部材を取り付けやすくするため既存ケラバ水切を加工します。ケラバ水切のみを使用する場合は、本体施工前に軒先の切り欠き加工が必要になり、ケラバ水切エンドを併用する場合は不要です。

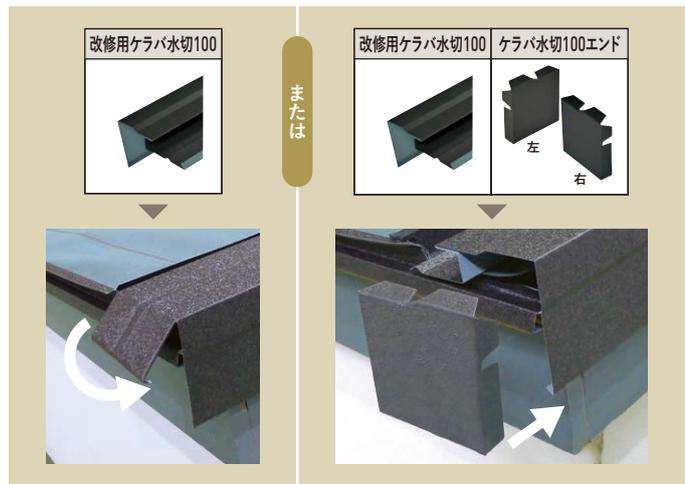
→通しの部材ですっきりとした仕上がりに
なります。



納まり例 ②

改修用ケラバ水切100を使用する場合は、既存ケラバ水切の上から重ねて取り付けます。改修用ケラバ水切100のみを使用する場合は、本体施工前に軒先の切り欠き加工が必要になり、ケラバ水切100エンドを併用する場合は不要です。

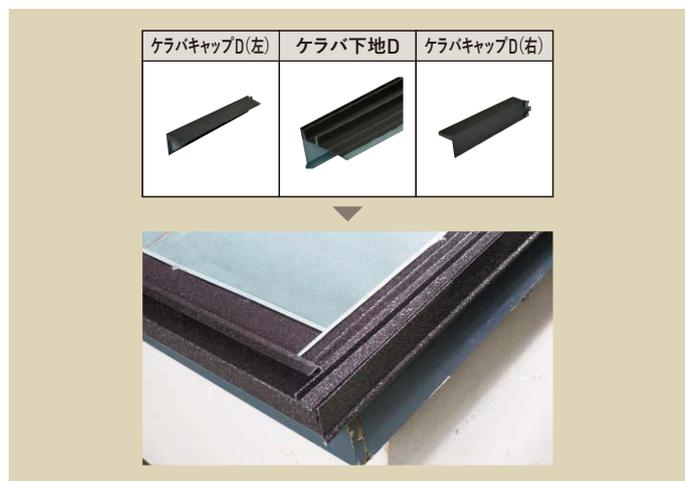
→既存ケラバ水切の加工が不要で施工性が
良くなります。

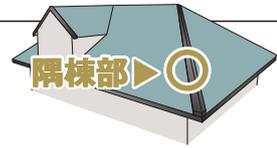


納まり例 ③

ケラバ下地Dを使用する場合は、部材を取り付けやすくするため既存ケラバ水切を加工します。ケラバ下地Dはあらかじめ切り欠き加工してから取付けます。ケラバキャップDは本体施工後に取り付けます。

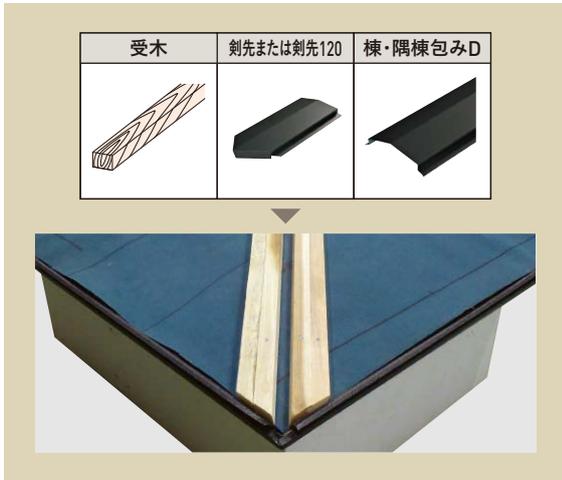
→段葺きのデザインを活かした美しい仕上がりに
なります。





4-2 隅棟部 ①～③いずれかの隅棟部の納まりを選定し施工してください。

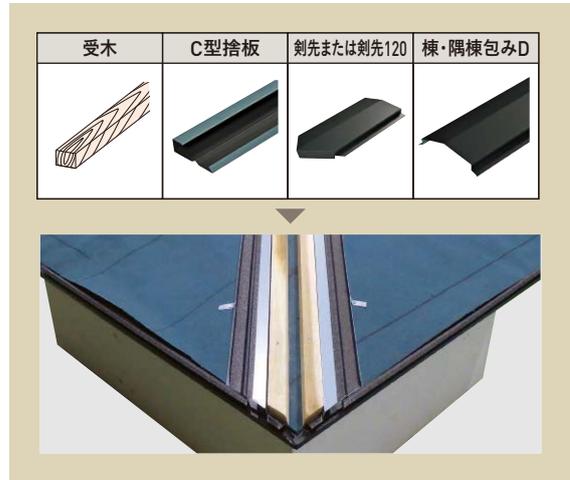
納まり例 ①



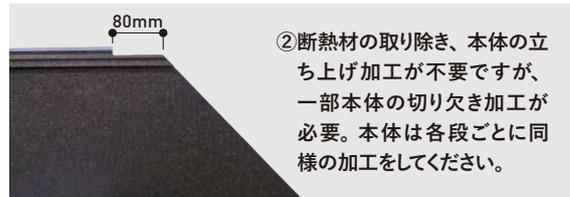
①受木を取り付けます。剣先と棟・隅棟包みDは本体施工後に取り付けます。



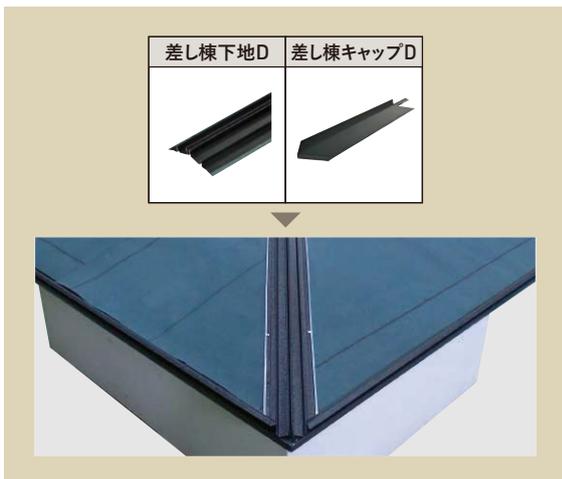
納まり例 ②



①受木を取り付け、C型捨板をあらかじめ加工して取り付けます。剣先と棟・隅棟包みDは本体施工後に取り付けます。



納まり例 ③



①差し棟下地Dをあらかじめ加工し取り付けます。



剣先と剣先120の納まりの違い



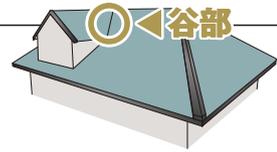
剣先の場合

剣先の垂れが本体のラインにそろうため、隅棟の頂点部がすっきりと仕上がります。



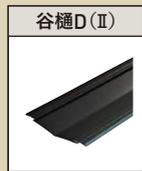
剣先120の場合

剣先120は垂れが長く、隅棟の頂点部(唐草の加工部)を覆うため、隅棟のラインが強調された仕上がりになります。また、サイズ(全長・面幅)を見直したことで、施工性がアップしました。



4-3 谷部 ①、②いずれかの谷部の納まりを選定し施工してください。

納まり例 ①



①谷樋D(Ⅱ)を取り付けます。吊り子(現場調達)で固定してください。

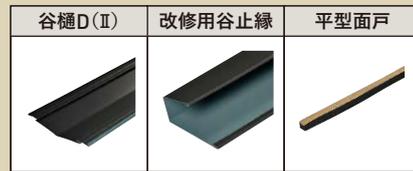


②断熱材の取り除き・本体の箱折加工が必要。



③本体を箱折加工して谷樋D(Ⅱ)のハゼにひっかけてください。

納まり例 ②

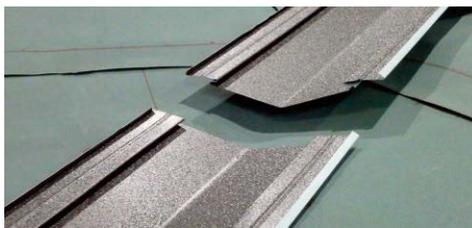


①谷樋D(Ⅱ)を取り付けます。吊り子(現場調達)で固定してください。



②断熱材の取り除き・本体の折り曲げが必要。

谷樋D(Ⅱ)のつなぎ方



谷樋D(Ⅱ)同士をつなぐ場合は、刻印がある方を水上側にして捨てシーリングを施工してください。片方のハゼを入れてから、もう片方のハゼを差し込みます。



その後、平行に押し込み、はみ出したシーリングは除去してください。

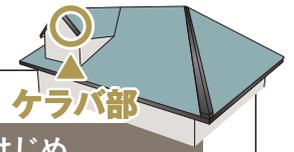
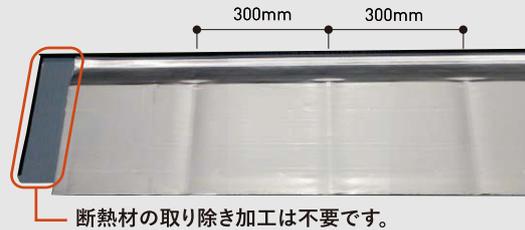
STEP 05

本体の加工と施工

本体を施工する際、各部位の部材を加工しながら施工してください。本体を野地板留めする場合は、指定下葺き材を施工し、当社専用ビス「ルーフ用ビス4×55」で本体を留め付けてください。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

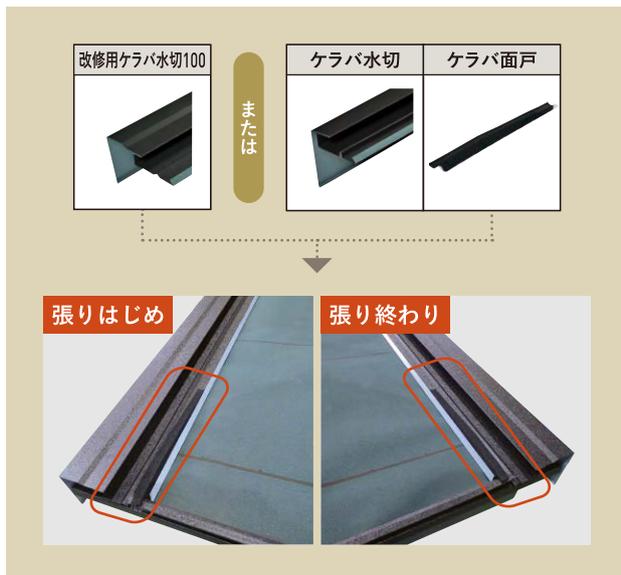
スーパーガルテクト本体裏面の工夫

本体の裏面には、万が入った水を排出しやすくするために、300mm間隔で溝を設けています。横ジョイントの左側は断熱材が充てんされていないので、断熱材を取り除く必要はありません。



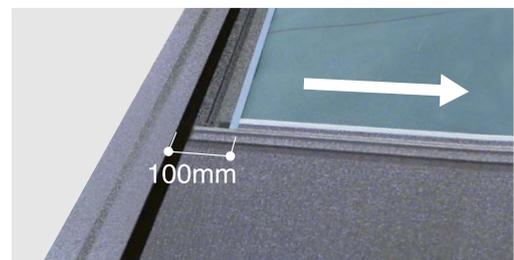
5-1 ケラバ部

ケラバ面戸の貼り付け(唐草部)



本体1段目を張る前に、唐草の引掛け部からケラバ部材のアダ折りに沿ってケラバ面戸を貼ってください。本体張り終わりも同様に貼ってください。ケラバ面戸を使用することでより止水性を高めます。

本体の張りはじめ



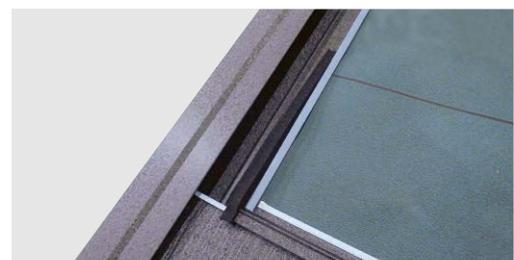
本体の施工は、屋根面に向かって必ず左から右へ、軒先部から施工してください。ケラバ部と重なる本体のくぎ打ち部は切り欠いてください。

本体の留め付け



本体は、455mm間隔以下でたる木に留め付けてください。

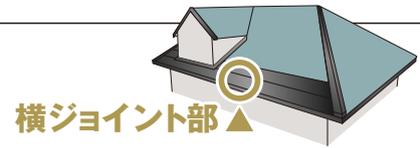
ケラバ面戸の貼り付け(本体)



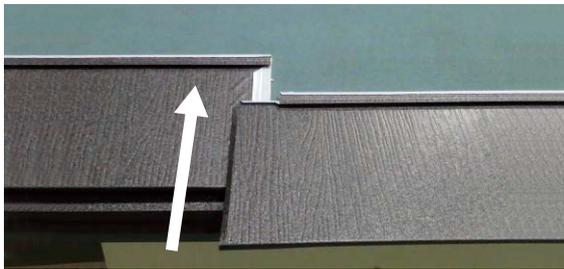
2段目からは本体の形状に合わせてケラバ面戸を貼り付けます。全段張りはじめと張り終わりに貼り付けてください。

これらの手順を繰り返し、本体を棟部まで張り上げてください。

5-2 横ジョイント部



本体のはめ込み方



横ジョイント部は上の写真のようにはめ込んでください。表面鋼板の重なり代を確保するために、左右で数mm程度の段差が発生します。



注意

横ジョイント部は、変形のおそれがありますので、上に乗ったり物を置いたりしないでください。

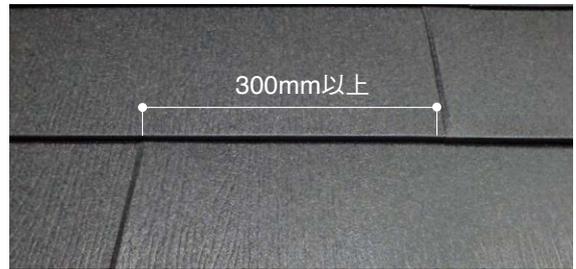


断熱材の除去



ケラバ部や隅棟部など本体の加工が必要な箇所では、カッターとスクレーパーなどを使用し、断熱材を取り除いてください。

本体の割り付け位置



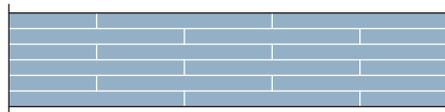
本体の横ジョイント部は上下で重ならないように300mm以上離して割り付けしてください。

本体の葺き方



回し葺き(階段葺き・乱葺き)

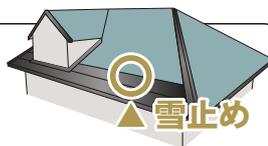
本体が定尺のため、材料も効率的に使うことができます。



一字葺き(千鳥葺き)

施工目地を揃えた意匠性の高い仕上がりを実現できます。

5-3 雪止め



雪止めGT(Ⅲ)
ハネタイプ



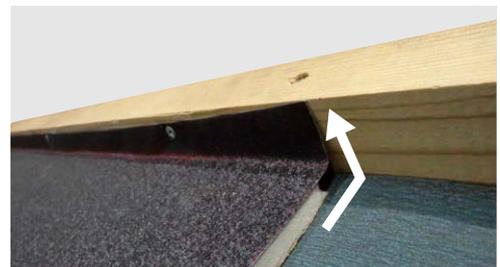
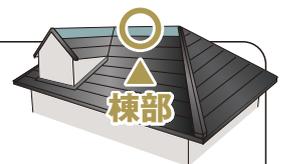
雪止めGT(Ⅲ)は、必要に応じて本体施工時に取り付けてください。



注意

雪止めは後付けできませんので、本体施工時に取り付けてください。

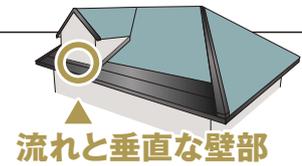
5-4 棟部



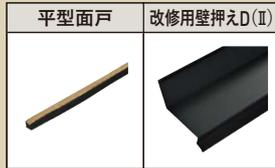
棟部では部材に合わせて本体の断熱材を取り除き、本体を立ち上げてください。

5-5 流れと垂直な壁部

①、②いずれかの隅棟部の納まりを選定し施工してください。

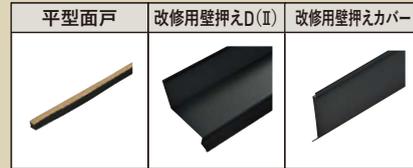


納まり例 ①



本体を受木に合わせて立ち上げ、不要な部分は切り取ってください。平型面戸は半分以上圧縮して施工してください。

納まり例 ②



改修用壁押えカバーは、壁際の納まりを美しく見せるための化粧材で、下地面と既存外壁材の下端との間が120~200mmの場合に使用できます。改修用壁押えD(II)と併用して使用することで、見栄えや施工性を向上させることができます。

5-6 流れと平行な壁部

①、②いずれかの隅棟部の納まりを選定し施工してください。



納まり例 ①



既存雨押えの不要な部分を切断し、既存雨押えの受木を取り外してください。本体の端部は、切り欠き立ち上げてください。L型捨板は吊り子(現場調達)で固定してください。

納まり例 ②

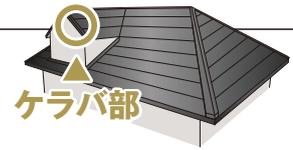


改修用壁押えカバーは、壁際の納まりを美しく見せるための化粧材で、下地面と既存外壁材の下端との間が120~200mmの場合に使用できます。既存雨押えの不要な部分を切断し、既存雨押えの受木を取り外してください。本体の端部は、切り欠き立ち上げ、L型捨板は吊り子(現場調達)で固定してください。

STEP 06

部材の取り付け(本体施工後)

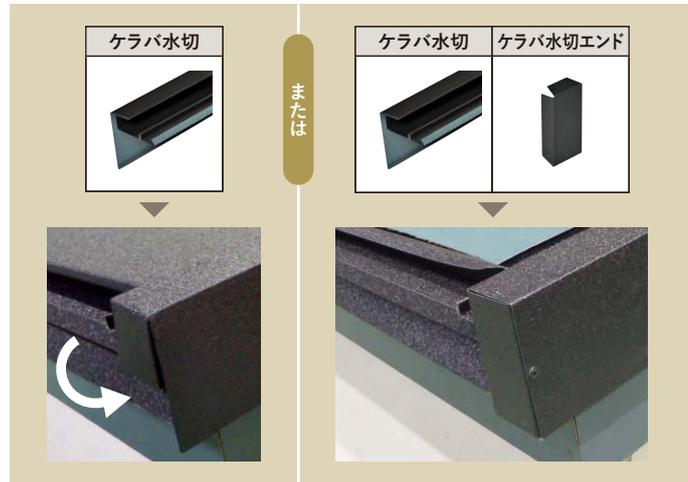
本体を施工後、各部位の部材を加工しながら施工してください。



6-1 ケラバ部 ①~③いずれかの納まりを選択し施工してください。

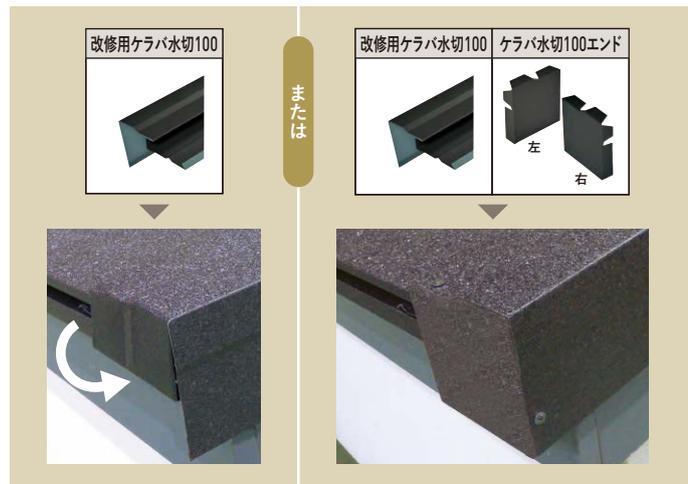
納まり例 ①

ケラバ水切のみを使用した場合は、本体の施工後に、あらかじめ加工した部分(P18納まり例①)を折り曲げてください。ケラバ水切エンドを使用する場合は、ケラバ水切に差し込み、ブラインドリベットまたはビスで確実に取り付けてください。その後、リベット頭やビス頭はタッチアップペイントで補修してください。



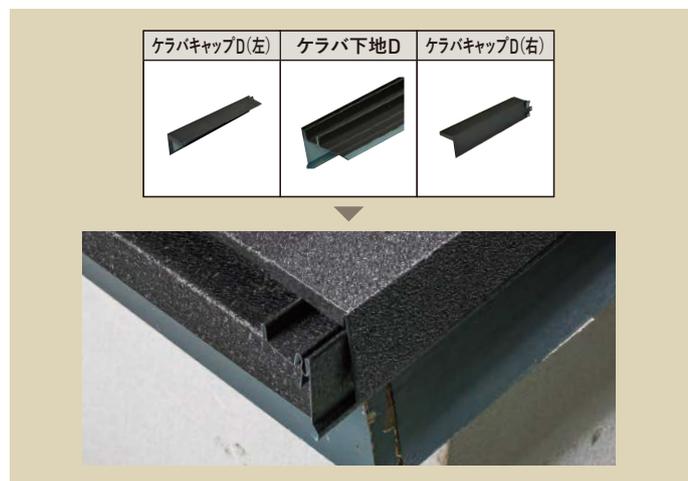
納まり例 ②

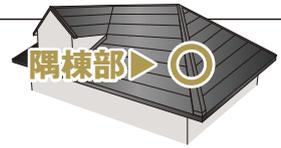
改修用ケラバ水切100のみを使用した場合は、本体の施工後に、あらかじめ加工した部分(P18納まり例②)を折り曲げてください。ケラバ水切100エンドを使用する場合は左右で形状が異なるため、確認してから改修用ケラバ水切100に差し込み、ブラインドリベットまたはビスで確実に取り付けてください。その後、リベット頭やビス頭はタッチアップペイントで補修してください。



納まり例 ③

ケラバ下地DにケラバキャップDを差し込み、くぎ打ちしてください。





6-2 隅棟部 ①～③いずれかの納まりを選定し施工してください。

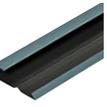
納まり例 ①

平型面戸	剣先または剣先120	棟・隅棟包みD
		



勾配に合わせて、剣先と棟・隅棟包みDを折り曲げて取り付けます。剣先を施工してから、棟・隅棟包みDを重ねて施工してください。剣先と棟・隅棟包みDの重ね代は、捨てシーリングを施工してください。

納まり例 ②

平型面戸	C型捨板	剣先または剣先120	棟・隅棟包みD
			



①C型捨板の上に受木を取り付けます。



②受木の上から、剣先、棟・隅棟包みDの順で重ねて施工してください。剣先と棟・隅棟包みDの重ね代は、捨てシーリングを施工してください。

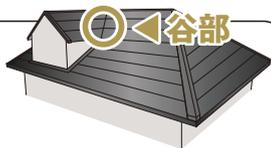
納まり例 ③

差し棟下地D	差し棟キャップD
	



本体に差し棟キャップDをはめ込み、くぎ打ちしてください。

6-3 谷部



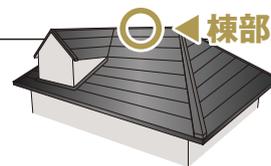
谷部の納まり例

谷樋D(Ⅱ)	改修用谷止縁



谷部の本体小口隠し用の部材で、本体と谷樋D(Ⅱ)との取り合いを簡単に施工できます。
改修用谷止縁の軒先部をあらかじめ加工し、本体に差し込み、本体1枚ごとに推奨ビスで表面鋼板に留め付けます。
ビス頭には、シーリング材を施工してください。

6-4 棟部



棟部の納まり例

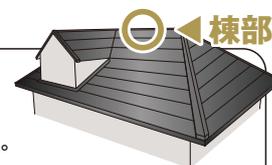
平型面戸	棟巴	棟・隅棟包みD



棟巴を施工してから棟・隅棟包みDを施工してください。棟巴と棟・隅棟包みDの重ね代は、捨てシーリングを施工してください。
棟巴はスーパーガルテクト、スーパーガルテクトCの専用部材となります。スーパーガルテクトフッ素の場合は、棟・隅棟包みDを加工してください。

6-5 棟部 換気棟の納め

屋根の形状に合わせて①、②いずれかの換気棟の納まりを選定し施工してください。



納まり例 ① 切妻・寄棟屋根の場合

平型面戸	換気棟L	換気棟	換気棟用エンドキャップ
	下地・捨て水切同梱 	下地・捨て水切同梱 	

または

換気棟同梱

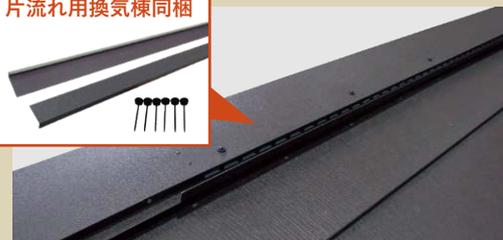


換気棟1セットには換気棟本体の他に、換気棟用下地2本、換気棟用捨て水切2本が同梱されています。開口に合わせてそれぞれ部材を取り付けてください。換気棟の端部は換気棟用エンドキャップを取り付けます。

納まり例 ② 片流れ屋根の場合

平型面戸	片流れ換気用水切	片流れ用棟包み	片流れ用換気棟
			片流れ換気用水切・固定ビス・捨て水切同梱

片流れ用換気棟同梱

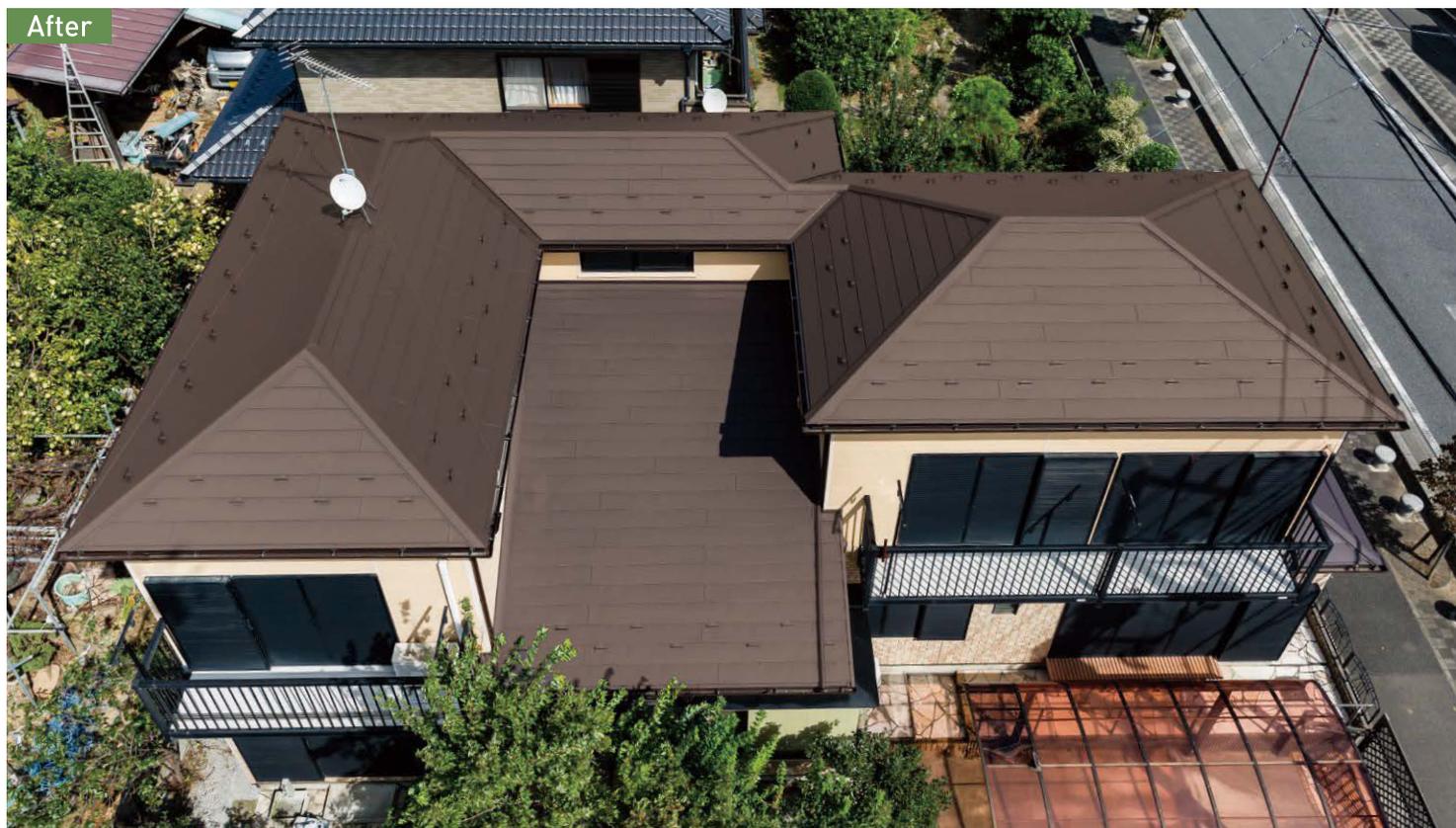


片流れ用換気棟1セットには、片流れ用換気棟本体の他に、片流れ換気用水切1本、捨て水切1本、本体固定ビス6本が同梱されています。開口に合わせてそれぞれの部材を取り付けてください。片流れ用棟包みと片流れ用換気棟の取り合いは、シーリングで納めてください。

スーパーガルテクト施工事例

01 リフォーム

[Before] 住宅用スレート
[After] スーパーガルテクトフッ素 SFブラック





After



After

02 リフォーム

[Before] 住宅用スレート

[After] スーパーガルテクトフッ素 SFブラウン



Before



03 リフォーム

[Before] 住宅用スレート

[After] スーパーガルテクト Sシェイドブラック



04 リフォーム

[Before] 住宅用スレート

[After] スーパーガルテクト Sシェイドブラウン





After

05

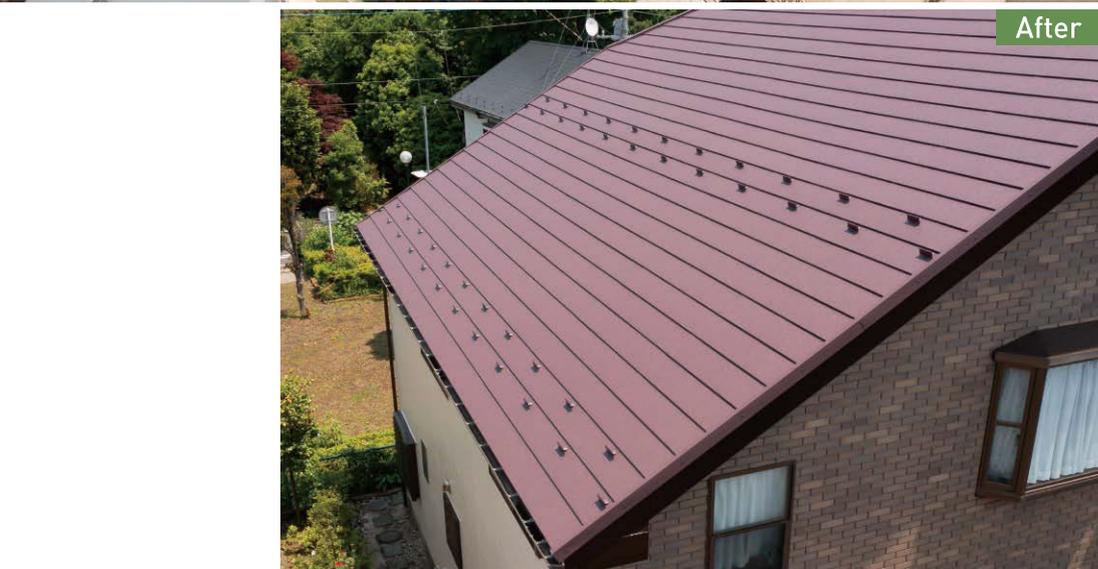
リフォーム

[Before] 瓦屋根

[After] スーパーガルテクト
Sシェイドワインレッド



Before



After

After



After



06 リフォーム

[Before] 住宅用スレート

[After] スーパーガルテクト Sシェイドモスグリーン





01 新築

[Color] ガルテクト
シェイドブラック





After



After

07 リフォーム

[Before] 瓦屋根
[After] スーパーガルテクト
Sシェイドブルー
Sシェイドモスグリーン



Before

02 新築

[Color] スーパーガルテクト
Sシェイドモスグリーン



遮熱性フッ素樹脂塗装を採用。
塗膜変褪色 20年保証を実現した最高級グレード、
スーパーガルテクトフッ素。

超 高耐久 **ガルバ** 遮熱性フッ素樹脂塗装

飛び火 性能認定	変褪色 20年 保証	赤さび 20年 保証	穴あき 25年 保証
-------------	------------------	------------------	------------------

葺き上がりを一層引き立てる、卓越した質感を誇る
特殊な「ちぢみ塗装」を採用した
意匠性に富んだ屋根材、
スーパーガルテクト。

超 高耐久 **ガルバ** 遮熱性ポリエステル樹脂塗装

ちぢみ塗装	飛び火 性能認定	塗膜 15年 保証	赤さび 20年 保証	穴あき 25年 保証
-------	-------------	-----------------	------------------	------------------

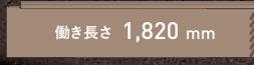
手狭な現場でも扱いやすい
コンパクトなスーパーガルテクトC。

超 高耐久 **ガルバ** 遮熱性ポリエステル樹脂塗装

ちぢみ塗装	飛び火 性能認定	塗膜 15年 保証	赤さび 20年 保証	穴あき 25年 保証
-------	-------------	-----------------	------------------	------------------

コンパクトサイズで施工も楽々！

▼スーパーガルテクトフッ素・スーパーガルテクト



その差
1,140
mm

▲スーパーガルテクトC

■本カタログの掲載マーク説明



鋼板の特性・特長
耐食性をさらに向上させた
ガルバ鋼板「超高耐久ガル
バ」を使用した商品です。



遮熱効果のあるフッ素樹脂塗
装品。耐候性に優れた機能です。



遮熱効果のあるポリエステル
樹脂塗装品です。

2022年9月1日 販売再開予定

スーパー ガルテクト[®] フッ素

本体規格

- 働き幅 265mm
- 総幅 310mm
- 厚さ 最大16mm
- 重量 5.0kg/m²
- 入り数 6枚

	働き長さ	入り数面積	発注単位
標準品	2,960mm	4.71m ²	1ケース



コード:GTF3-726
SFブラック



コード:GTF3-728
SFブラウン

カラーラインナップの写像是本体2枚分です

スーパー ガルテクト[®]

本体規格

- 働き幅 265mm
- 総幅 310mm
- 厚さ 最大16mm
- 重量 5.0kg/m²
- 入り数 6枚

	働き長さ	入り数面積	発注単位
標準品	2,960mm	4.71m ²	1ケース



コード:GT5-706
Sシェイドブラック



コード:GT5-708
Sシェイドブラウン



コード:GT3-707
Sシェイドブルー



コード:GT3-710
Sシェイドモスグリーン



コード:GT3-711
Sシェイドチャコール



コード:GT5-712
Sシェイドワインレッド

カラーラインナップの写像是本体2枚分です

スーパー ガルテクト[®] C

本体規格

- 働き幅 265mm
- 総幅 310mm
- 厚さ 最大16mm
- 重量 5.0kg/m²
- 入り数 6枚

	働き長さ	入り数面積	発注単位
標準品	1,820mm	2.90m ²	1ケース



コード:GTC3-706
Sシェイドブラック



コード:GTC3-708
Sシェイドブラウン

カラーラインナップの写像是本体2枚分です

塗装の種類



ちぢみ塗装により、金属板とは思えない高級感あふれる質感を実現しました。

取得認定の種類



飛び火性能認定適合商品

保証

※保証登録を行っていただいた物件のみ有効。保証内容は弊社保証規定に基づきます。



変褪色 20年保証 対応商品



塗膜 15年保証 対応商品



赤さび 20年保証 対応商品



穴あき 25年保証 対応商品

- 部材一覧 ・スーパーガルテクトフッ素用部材の材質は遮熱性フッ素樹脂塗装超耐久ガルバ (t=0.35mm) です。
 ・スーパーガルテクト、スーパーガルテクトC用部材の材質は遮熱性ポリエステル樹脂塗装超耐久ガルバ (t=0.35mm) です。

単位:mm

商品名	唐草G50	改修用唐草D	改修用唐草SB	改修用一体唐草16	改修用一体唐草29	
商品図						
	L=2,727	L=2,727	L=2,727	L=2,727	L=2,727	
梱包単位	5本/包	5本/包	5本/包	5本/包	5本/包	
色(材質)	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	
本体色	SFブラック	KR21-726	KS6-726	KS10-726	KS13-726	KS14-726
	SFブラウン	KR21-728	KS6-728	KS10-728	KS13-728	KS14-728
	Sシェイドブラック	KR21-706	KS6-706	KS10-706	KS13-706	KS14-706
	Sシェイドブラウン	KR21-708	KS6-708	KS10-708	KS13-708	KS14-708
	Sシェイドブルー	KR21-707	KS6-707	KS10-707	KS13-707	KS14-707
	Sシェイドモスグリーン	KR21-710	KS6-710	KS10-710	KS13-710	KS14-710
	Sシェイドチャコール	KR21-711	KS6-711	KS10-711	KS13-711	KS14-711
	Sシェイドワインレッド	KR21-712	KS6-712	KS10-712	KS13-712	KS14-712

商品名	ケラバキャップD(左)	ケラバ下地D	ケラバキャップD(右)	ケラバ水切	ケラバ水切エンド	
商品図						
	左	L=2,727	右	L=2,727		
梱包単位	10個/箱	5本/包	10個/箱	5本/包	50個/箱	
色(材質)	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	
本体色	SFブラック	KR4-726	KR5-726	KR3-726	KR15-726	KR11-726
	SFブラウン	KR4-728	KR5-728	KR3-728	KR15-728	KR11-728
	Sシェイドブラック	KR4-706	KR5-706	KR3-706	KR15-706	KR11-706
	Sシェイドブラウン	KR4-708	KR5-708	KR3-708	KR15-708	KR11-708
	Sシェイドブルー	KR4-707	KR5-707	KR3-707	KR15-707	KR11-707
	Sシェイドモスグリーン	KR4-710	KR5-710	KR3-710	KR15-710	KR11-710
	Sシェイドチャコール	KR4-711	KR5-711	KR3-711	KR15-711	KR11-711
	Sシェイドワインレッド	KR4-712	KR5-712	KR3-712	KR15-712	KR11-712

商品名	ケラバ水切100エンド(左)	改修用ケラバ水切100	ケラバ水切100エンド(右)	差し棟キャップD3寸	差し棟下地D	差し棟キャップD5寸
商品図						
	左	L=2,727	右	2.5寸~4.5寸勾配用	L=2,727	5寸~6寸勾配用
梱包単位	30個/箱	5本/包	30個/箱	20個/箱	5本/包	20個/箱
色(材質)	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色
本体色	SFブラック	KR20-726	KS15-726	KR19-726	SM2-726	SM3-726
	SFブラウン	KR20-728	KS15-728	KR19-728	SM2-728	SM3-728
	Sシェイドブラック	KR20-706	KS15-706	KR19-706	SM2-706	SM3-706
	Sシェイドブラウン	KR20-708	KS15-708	KR19-708	SM2-708	SM3-708
	Sシェイドブルー	KR20-707	KS15-707	KR19-707	SM2-707	SM3-707
	Sシェイドモスグリーン	KR20-710	KS15-710	KR19-710	SM2-710	SM3-710
	Sシェイドチャコール	KR20-711	KS15-711	KR19-711	SM2-711	SM3-711
	Sシェイドワインレッド	KR20-712	KS15-712	KR19-712	SM2-712	SM3-712

超耐久ガルバは、2%マグネシウム-55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板です。

単位:mm

商品名	棟・隅棟包みD	片流れ用棟包み	C型捨板	棟巴	剣先	剣先120	
商品図							
梱包単位	5本/包	5本/包	4本/包	15個/箱	5本/箱	5本/箱	
色(材質)	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	
本体色	SFブラック	KR7-726	KT1-726	SFブラック:KR18-726	—	SM1-726	SM8-726
	SFブラウン	KR7-728	KT1-728	—	—	SM1-728	SM8-728
	Sシェイドブラック	KR7-706	KT1-706	Sシェイドブラック:KR18-706	KR13-706	SM1-706	SM8-706
	Sシェイドブラウン	KR7-708	KT1-708		KR13-708	SM1-708	SM8-708
	Sシェイドブルー	KR7-707	KT1-707		KR13-707	SM1-707	SM8-707
	Sシェイドモスグリーン	KR7-710	KT1-710		KR13-710	SM1-710	SM8-710
	Sシェイドチャコール	KR7-711	KT1-711		KR13-711	SM1-711	SM8-711
	Sシェイドワインレッド	KR7-712	KT1-712		KR13-712	SM1-712	SM8-712

商品名	換気棟	換気棟用エンドキャップ	換気棟L	片流れ用換気棟	片流れ換気用水切	
商品図						
梱包単位	1セット/箱	2個/箱	1セット/箱	1セット/箱	5本/包	
色(材質)	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	
本体色	SFブラック	KM1-726	KM2-726	KM3-726	KT2-726	KT3-726
	SFブラウン	KM1-728	KM2-728	KM3-728	KT2-728	KT3-728
	Sシェイドブラック	KM1-706	KM2-706	KM3-706	KT2-706	KT3-706
	Sシェイドブラウン	KM1-708	KM2-708	KM3-708	KT2-708	KT3-708
	Sシェイドブルー	KM1-707	KM2-707	KM3-707	KT2-707	KT3-707
	Sシェイドモスグリーン	KM1-710	KM2-710	KM3-710	KT2-710	KT3-710
	Sシェイドチャコール	KM1-711	KM2-711	KM3-711	KT2-711	KT3-711
	Sシェイドワインレッド	KM1-712	KM2-712	KM3-712	KT2-712	KT3-712

商品名	谷樋D(Ⅱ)	改修用谷止縁	壁押えD(Ⅱ)	改修用壁押えD(Ⅱ)	改修用壁押えカバー	L型捨板	
商品図							
梱包単位	1本/包	4本/包	5本/包	5本/包	5本/包	5本/包	
色(材質)	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	本体色	
本体色	SFブラック	KR17-726	KS11-726	KR8-726	KS8-726	KS16-726	SFブラック:KR16-726
	SFブラウン	KR17-728	KS11-728	KR8-728	KS8-728	KS16-728	
	Sシェイドブラック	KR17-706	KS11-706	KR8-706	KS8-706	KS16-706	Sシェイドブラック:KR16-706
	Sシェイドブラウン	KR17-708	KS11-708	KR8-708	KS8-708	KS16-708	
	Sシェイドブルー	KR17-707	KS11-707	KR8-707	KS8-707	KS16-707	
	Sシェイドモスグリーン	KR17-710	KS11-710	KR8-710	KS8-710	KS16-710	
	Sシェイドチャコール	KR17-711	KS11-711	KR8-711	KS8-711	KS16-711	
	Sシェイドワインレッド	KR17-712	KS11-712	KR8-712	KS8-712	KS16-712	

・片流れ用換気棟を使用する場合は、同梱されている片流れ換気用水切の他に、片流れ用棟包みの長さ分の片流れ換気用水切が別途必要になります。

次ページへ続く

- 部材一覧 ・スーパーガルテクトフッ素用部材の材質は遮熱性フッ素樹脂塗装超高耐久ガルバ (t=0.35mm) です。
 ・スーパーガルテクト、スーパーガルテクトC用部材の材質は遮熱性ポリエステル樹脂塗装超高耐久ガルバ (t=0.35mm) です。

単位:mm

商品名	ジョイント下地	10MコイルD	ケラバ面戸	段付面戸D	平型面戸	雪止めGT(Ⅲ)ハネタイプ
商品図						
梱包単位	30個/箱	1本/箱	100個/箱	50個/箱	50本/箱	50個/箱
色(材質)	本体色	本体色	-(発泡 EPDM)	-(発泡 EPDM)	-(発泡 EPDM)	アクリル塗装(ステンレス)
本体色	SFブラック	RCO1-726	MT6-000	MT1-000	MT2-000	シェイドブラック:YD7-506
	SFブラウン	RCO1-728				シェイドブラウン:YD7-508
	Sシェイドブラック	RCO1-706				YD7-506
	Sシェイドブラウン	RCO1-708				YD7-508
	Sシェイドブルー	RCO1-707				YD7-507
	Sシェイドモスグリーン	RCO1-710				YD7-510
	Sシェイドチャコール	RCO1-711				YD7-511
	Sシェイドワインレッド	RCO1-712				YD7-512

商品名	防水テープ	防水テープD	ルーフ用ビス4×55	タッチアップペイント	エコシーリング	エコシーリングホルダー	
商品図							
梱包単位	—	—	300本/箱	—	10本/箱	2本/箱	
色(材質)	-(ブチルゴム系粘着剤)	-(ブチルゴム系粘着剤)	ステンレス(ディソゴ処理)	—	本体色(変成シリコーン)	—	
本体色	SFブラック	MT3-000	MT4-000	RB1-000	RTR1-526	シェイドブラック:RTR2-506	STR3-000
	SFブラウン				RTR1-528	シェイドブラウン:RTR2-508	
	Sシェイドブラック				RTR1-506	RTR2-506	
	Sシェイドブラウン				RTR1-508	RTR2-508	
	Sシェイドブルー				RTR1-507	RTR2-507	
	Sシェイドモスグリーン				RTR1-510	RTR2-510	
	Sシェイドチャコール				RTR1-511	RTR2-511	
	Sシェイドワインレッド				RTR1-512	RTR2-512	

- ・タッチアップペイントと商品は塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・タッチアップペイントの使用上の注意に関しては、P57をご覧ください。

使用上の注意[スーパーガルテクト共通]

- ・本商品は木造下地専用です。
- ・2.5寸以上の勾配で使用してください。詳細は右表を確認してください。
- ・一般地域(最深積雪量の平均値がおおむね30cm以下の地域)で使用してください。積雪地域では、すがもれのおそれがあります。
- ・新築と改修(合板下地工法)の3.5寸勾配未満の物件では、ジョイント下地の施工が全段必要となります。
- ・横ジョイント部、差し棟キャップ、換気棟は、変形のおそれがありますので、上に乗ったり、重量物を置いたりしないでください。
- ・タッチアップペイントは軽微な小範囲のすりキズなどの補修に使用してください。
- ・ちぢみ塗装の特性として表面意匠に差が見える場合があります。
- ・施工前に、施工説明書を必ずお読みの上施工してください。

勾配と流れ長さの制限

勾配	2.5寸~3.5寸未満	3.5寸以上
流れ長さ	7m以下	20m以下

認定取得範囲

■木造下地

用途	地域	延床面積 (S) m ² 階数	S ≤ 100	100 < S ≤ 500	500 < S ≤ 1000	1000 < S ≤ 1500	1500 < S ≤ 3000	3000 < S
			共同住宅	防火	1,2階建	30分準耐火構造	30分耐火構造	
3階建	飛び火性能(法62条)	30分準耐火構造			30分耐火構造			
1,2階建								
22条区域	3階建	30分準耐火構造					30分耐火構造	
	1,2階建	飛び火性能 (法22・25条)		30分準耐火構造(2階床面積が300m ² 以上の場合)				
戸建住宅	防火	1,2階建		30分準耐火構造	30分耐火構造			
		3階建	準防火3階建仕様	30分準耐火構造			30分耐火構造	
	1,2階建	飛び火性能(法62条)						
	22条区域	3階建	飛び火性能 (法22・25条)					30分耐火構造
		1,2階建						

スーパーガルテクトが使用可能な範囲です。

飛び火性能認定を取得している構造とする。

飛び火性能に、その屋内側の部分または、直下の天井部分に防火被覆として強化せっこうボード(厚さ12mm以上)と防火被覆の取り合い部分に当て木を設け、当該建築物の内部への炎の侵入を有効に防止することができる構造とする(建設省告示1358号)。

飛び火性能に、その屋内側の部分または、直下の天井部分に防火被覆として強化せっこうボード2枚以上(合計厚さ27mm以上)と防火被覆の取り合い部分に当て木を設け、当該建築物の内部への炎の侵入を有効に防止することができる構造とする(建設省告示1399号)。

・高さ16mを超えるもの(車庫、倉庫は13mを超えるもの)、または階数が4以上の木造建築は、地域に関わらず30分準耐火構造以上の性能が求められます(法21条)。

(注) 飛び火性能認定は構造認定ですので、認定を取得している仕様にて施工してください。

スーパーガルテクトの飛び火性能認定は、木造下地での仕様です。鉄骨下地では使用できません。

以上は、屋根のみに関する建築基準法の大まかな制限を表しています。

自治体の条例などで建築基準法より厳しい制限が設けられている場合がありますので、計画の際は前もって管轄の行政庁にご確認ください。

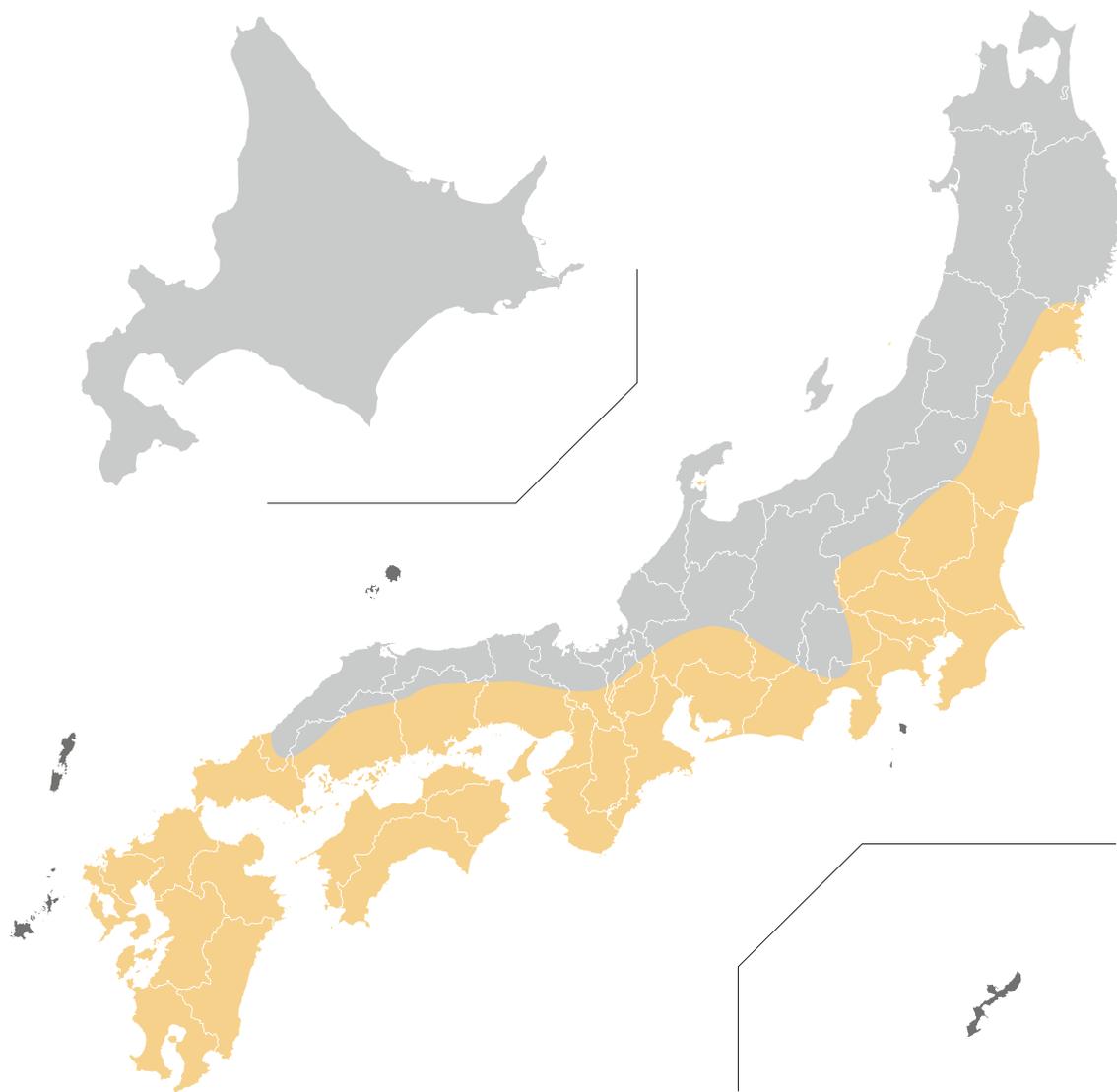
取得認定

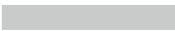
飛び火性能認定 DR-1977 (1) (屋根勾配: 2.5~27.5寸適応)

	材料	寸法
屋根材	スーパーガルテクトフッ素 スーパーガルテクト スーパーガルテクトC	—
目地部部材	ジョイント下地(有りまたは無し)	—
防水材	アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィング 粘着層付き改質アスファルトルーフィング	—
野地板	耐水合板 素地パーティクルボード 構造用パネル(OSB)	厚さ12mm以上
たる木	木製下地	45mm×60mm以上(間隔500mm以下)

適用地域一覧

この全国積雪分布図は、気象庁編集による一般財団法人気象業務支援センターが発行した「メッシュ気候値2000」をもとにアイジー工業(株)が独自に作成したものです。



適用区分	年間平均最深積雪量
	一般地域：おおむね30cm以下の地域
	施工不可地域：おおむね30cmを超える施工に適さない地域
	施工不可地域：沖縄及び離島

※長野県・山梨県・北陸・京丹後地域・滋賀県に関しては、別途施工基準があります。
詳しくは、最寄りの営業所へお問い合わせください。

マンセル値(測定値)と日本塗料工業会色票番号(近似値)

カラー鋼板、コイル、補修塗料、シーリングを現場手配する場合、下記の表を参考に色の選定をしてください。

- ・日塗工番号については、あくまでも近似値です。参考値として利用してください。
- ・マンセル値は測定値です。参考値として利用してください。
- ・マンセル値は「色相 明度/彩度」を表します。

最終的には実物での色合わせをお願いします。

■スーパーガルテクトフッ素

本体色	マンセル値(測定値)	日本塗料工業会色票番号(2021年L版)
SFブラック	7.9PB 2.55 / 0.19	LN-30
SFブラウン	1.0YR 2.41 / 0.77	L05-30B

■スーパーガルテクト / スーパーガルテクトC^{*1}

本体色	マンセル値(測定値) ^{※1}	日本塗料工業会色票番号(2021年L版) ^{※2}
Sシェイドブラック	8.9PB 2.42 / 0.23	—
Sシェイドブラウン	5.6R 2.81 / 0.54	—
Sシェイドブルー	3.6PB 2.60 / 1.51	—
Sシェイドモスグリーン	8.7G 2.74 / 1.23	—
Sシェイドチャコール	1.0YR 2.82 / 0.15	—
Sシェイドワインレッド	2.3YR 3.4 / 1.5	—

※1：スーパーガルテクトCのカラーラインナップはSシェイドブラック、Sシェイドブラウンのみです。

注1：ちぢみ塗装は、光の強さや見る角度によって色が違って見えるため、マンセル値での表現が困難です。

上記値は、一定角度での測定値を代表値としております。実際の色の見え方とは異なり、輝度感も反映されておられません。

上記値で塗料などの調色(色合わせ)を行っても色が合いませんので、調色を行う際は、実物と色合わせをお願いします。

注2：ちぢみ塗装は、日本塗料工業会色票番号の設定がありません。

物性値

項目		単位	性能値	備考
耐風圧性能	正圧	Pa (kgf/m ²)	4,000(407)以上	下地条件:アスファルトルーフィング940 構造用合板12mm、たる木(間隔455mm)
	負圧 ^{※2}	Pa (kgf/m ²)	6,500(662)	
しん材熱伝導率		W/mK(kcal/mh°C)	0.032(0.028)	
熱貫流率 ^{※3}	新築	W/m ² K(kcal/m ² h°C)	1.43(1.22)	下地条件:アスファルトルーフィング940 構造用合板12mm、たる木(間隔455mm)
	改修	W/m ² K(kcal/m ² h°C)	1.19(1.02)	下地条件:アスファルトルーフィング940 住宅屋根用化粧スレート アスファルトルーフィング940 構造用合板12mm、たる木(間隔455mm)
水密性		Pa (kgf/m ²)	平均圧力750(76)以上	下地条件:アスファルトルーフィング940 構造用合板12mm、たる木(間隔455mm)
加工性		—	2T	塗膜剥離しないこと
耐食性		hr	1,000	塩水噴霧試験(8F以内)

(1Pa:1N/m²)

※2：耐風圧データの負圧の数値は破壊値です。設計に際しては、十分な安全率を見込んでください。

※3：熱貫流率は数値の少ない方が断熱性能に優れています。熱貫流率はJIS-A-1420で測定した値です。

(注)上記物性データは性能参考値です。環境によって異なった数値になる場合があります。

下葺き材・留め具の選定

たる木留めの場合(標準施工)

- ・本体の留め付けは、たる木留めを推奨します。
- ・合板下地工法は、屋根の勾配により下葺き材の種類が異なります。
- ・対象工法や勾配により、指定の下葺き材の施工が必要です。
- ・下の表を参照して選定してください。

■下葺き材の施工

改修(直張工法^{*1})

勾配	2.5寸～3.5寸未満	3.5寸以上
流れ長さ	7m以下	20m以下
下葺き材	アスファルトルーフィング940同等以上	

改修(合板下地工法^{*2})・新築

勾配	2.5寸～3.5寸未満	3.5寸以上
流れ長さ	7m以下	20m以下
下葺き材	片面粘着層付き改質アスファルトルーフィング	改質アスファルトルーフィング

■留め具

工法	名称	材質	サイズ
改修 (直張工法 ^{*1})	くぎ	ステンレスまたは鉄(亜鉛めっき)	長さ65mm以上
	スレート改修用ビス	鉄(亜鉛めっき)	長さ50mm以上
	ルーフ用ビス4×55	ステンレス(ディスゴ処理)	長さ55mm
改修 合板下地工法 ^{*2} (カバー)	くぎ	ステンレスまたは鉄(亜鉛めっき)	長さ75mm以上
	スレート改修用ビス	鉄(亜鉛めっき)	長さ65mm以上
改修 合板下地工法 ^{*2} (葺き替え)	くぎ	ステンレスまたは鉄(亜鉛めっき)	長さ50mm以上
	木ビス	鉄(亜鉛めっき)	長さ50mm以上
	ルーフ用ビス4×55	ステンレス(ディスゴ処理)	長さ55mm
新築	くぎ	ステンレスまたは鉄(亜鉛めっき)	長さ50mm以上
	木ビス	鉄(亜鉛めっき)	

野地板留めの場合

- ・やむを得ずたる木に留め付けられない場合は、野地板留めでの施工を選定してください。
- ・野地板留めは、指定下葺き材と指定ビスでの施工が必須となります。
- ・合板下地工法は、屋根の勾配により下葺き材の種類が異なります。指定下葺き材の表を確認し、選定してください。

■下葺き材の施工

改修(直張工法^{*1})

勾配	2.5寸～3.5寸未満	3.5寸以上
流れ長さ	7m以下	20m以下
下葺き材	指定下葺き材①	

改修(合板下地工法^{*2})

勾配	2.5寸～3.5寸未満	3.5寸以上
流れ長さ	7m以下	20m以下
下葺き材	指定下葺き材①	指定下葺き材①②

指定下葺き材

	メーカー名	商品名	ルーフィング仕様
指定下葺き材①	田島ルーフィング株式会社	ニューライナールーフ	改質アスファルトルーフィング
		タディスセルフカバー	
指定下葺き材②	ガムスター株式会社	SEタックII	改質アスファルトルーフィング (ARK-04S規格適合品)
	日新工業株式会社	カッパ23	
	田島ルーフィング株式会社	タディスホワイト	
	ガムスター株式会社	ニュースタンダード	
	常裕パルプ工業株式会社	レギュラー	

■留め具

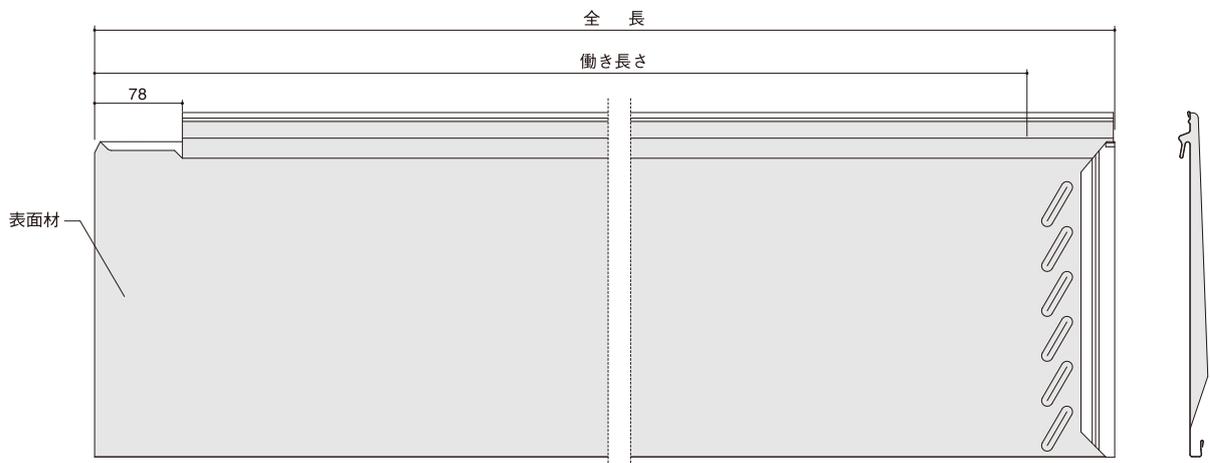
工法	名称	材質	サイズ
改修(直張工法 ^{*1})	ルーフ用ビス4×55	ステンレス(ディスゴ処理)	長さ55mm
改修(合板下地工法 ^{*2})			

※1：既存屋根にスーパーガルテクトを直張する工法。(参照P45～49)

※2：既存屋根に合板を張り、スーパーガルテクトを施工する工法。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

本体形状図

単位:mm



施工資料

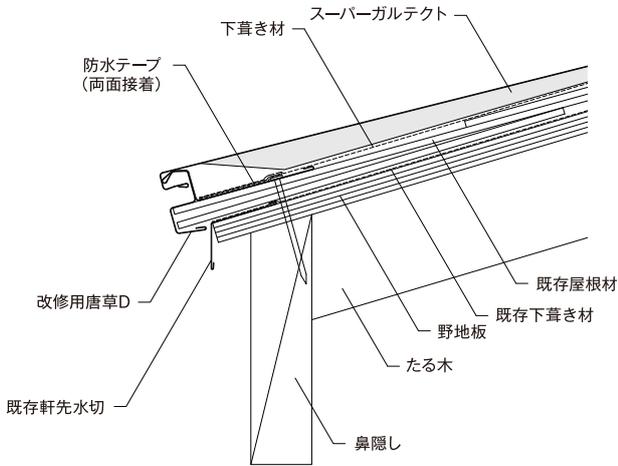
■本体規格

商品名	働き長さ	全長	表面材
スーパーガルテクトフッ素	2,960mm	3,038mm	エンボス加工遮熱性フッ素樹脂塗装超高耐久ガルバ (t=0.35)
スーパーガルテクト	2,960mm	3,038mm	エンボス加工遮熱性ポリエステル樹脂塗装超高耐久ガルバ (t=0.35)
スーパーガルテクトC	1,820mm	1,898mm	エンボス加工遮熱性ポリエステル樹脂塗装超高耐久ガルバ (t=0.35)

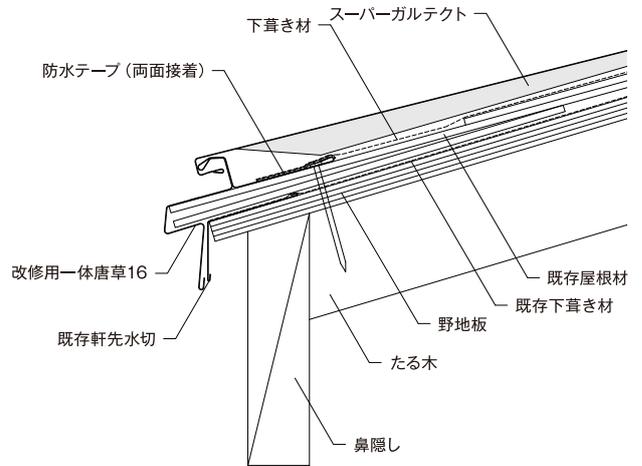
参考納まり図 改修 直張工法

軒先部

改修用唐草D仕様

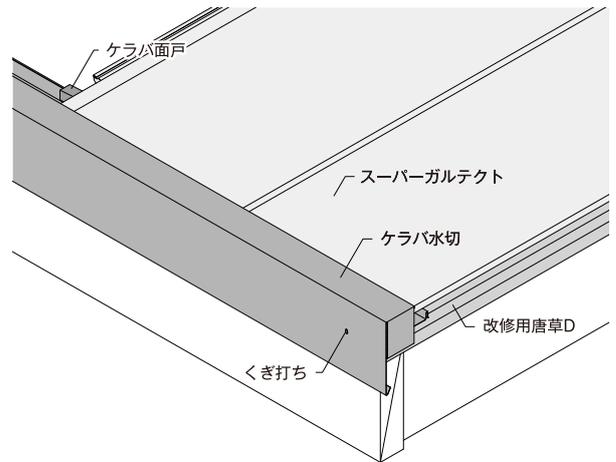
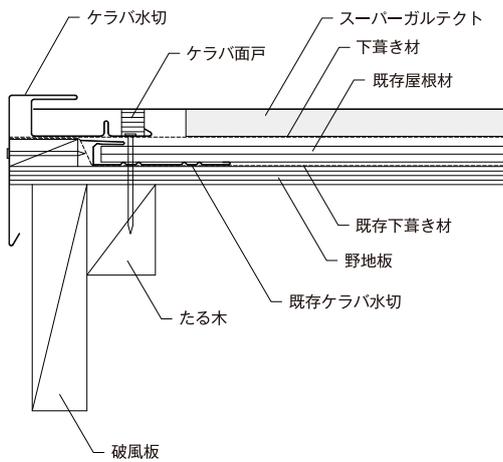


改修用一体唐草16仕様

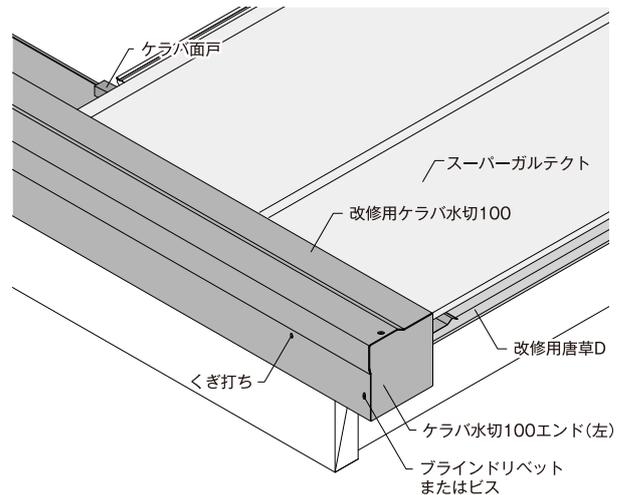
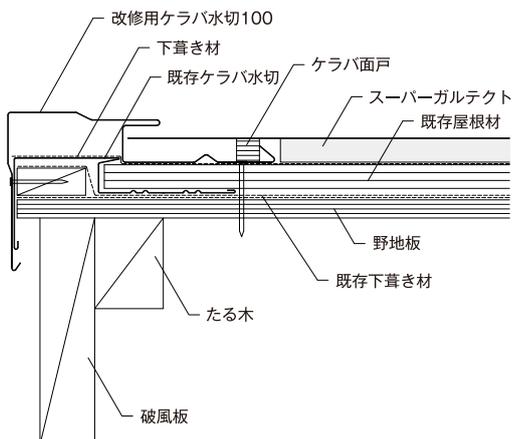


ケラバ部

ケラバ水切仕様



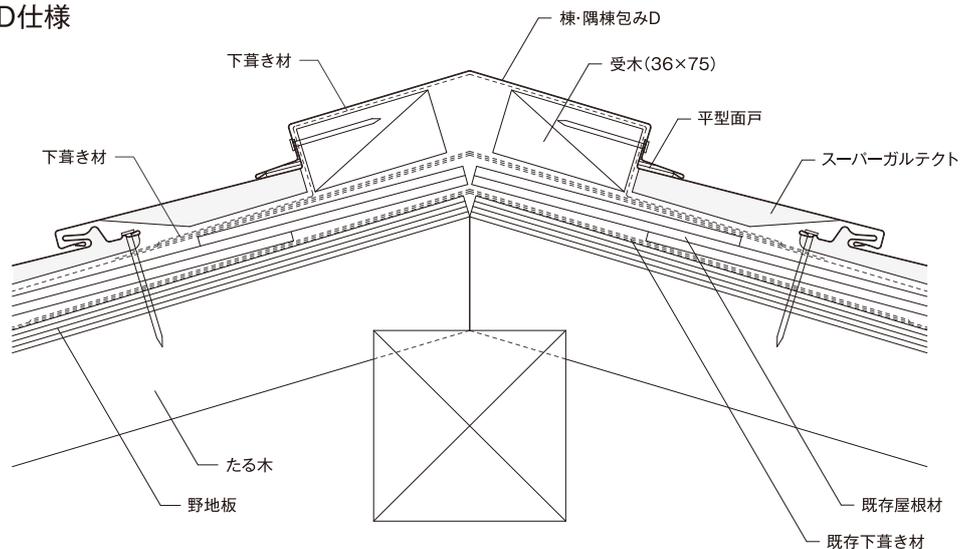
改修用ケラバ水切100仕様



記載の納まりは代表例です。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

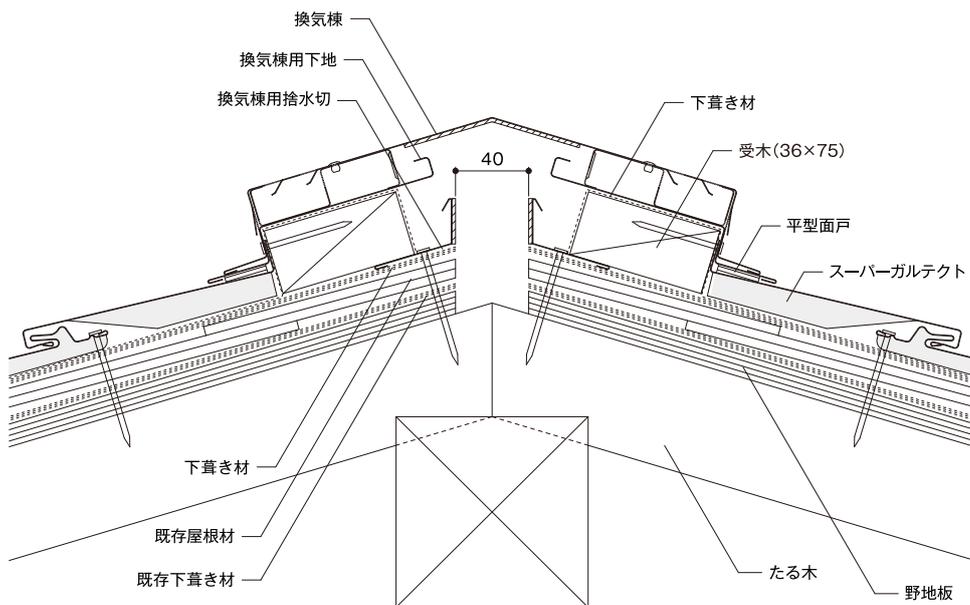
棟部（切妻・寄棟屋根形状）

棟・隅棟包みD仕様



隅棟にC型捨板を使用する場合は、受木のサイズを合わせてください。

換気棟仕様



○データ

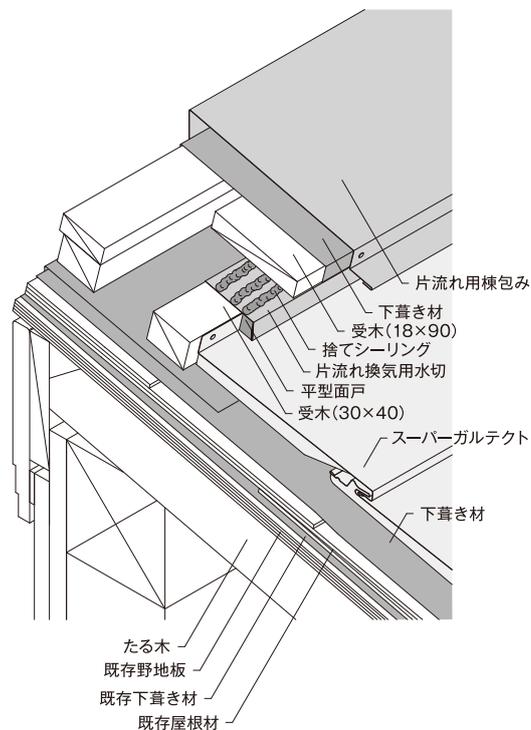
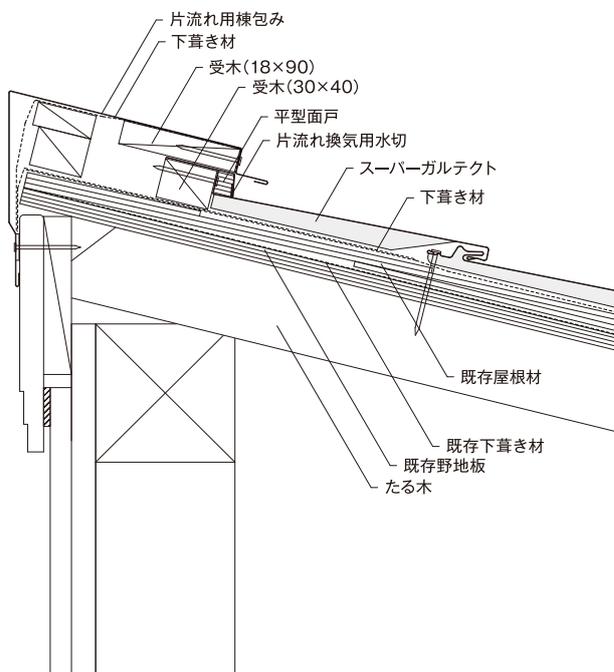
	換気棟	換気棟L
有効開口面積(m ² /セット)	0.017	0.028
天井面積(m ² /セット)	27.2	44.8
対応勾配(寸)	2.5~10	
働き長さ(mm)	1,050	1,750
商品長さ(mm)	1,130	1,830

・上記天井面積は、1セットでカバーできる天井面積です。住宅金融支援機構の木造住宅工事仕様書より算出しています。

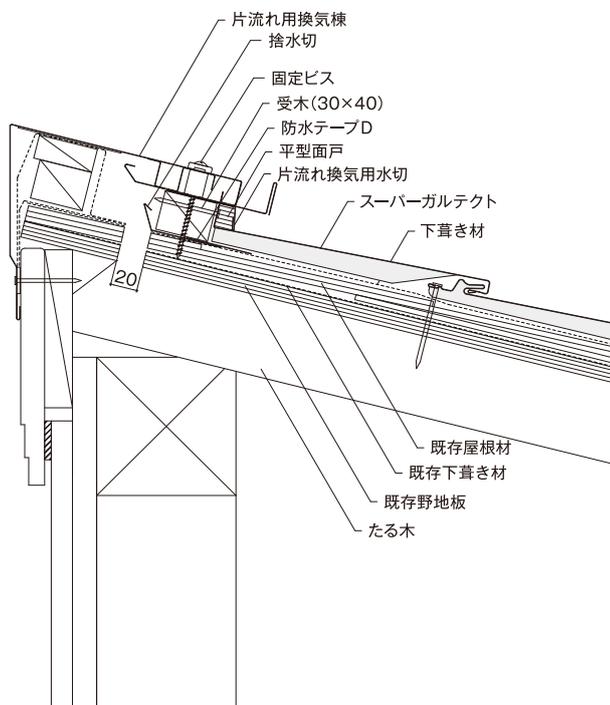
参考納まり図 改修 直張工法

棟部 (片流れ屋根形状)

片流れ用棟包み仕様(片流れ用換気棟併用の場合)



片流れ用換気棟仕様



○データ

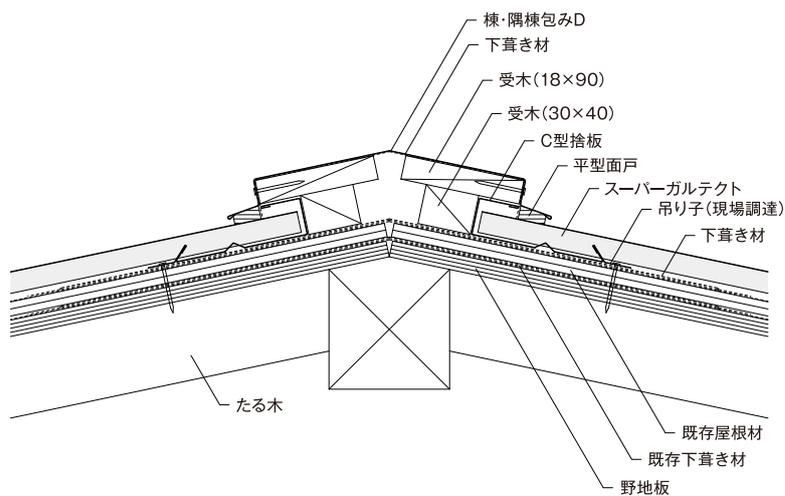
有効開口面積 (m ² /セット)	0.016
天井面積 (m ² /セット)	25.6
対応勾配 (寸)	2.5~6

・上記天井面積は、1セットでカバーできる天井面積です。住宅金融支援機構の木造住宅工事仕様書より算出しています。

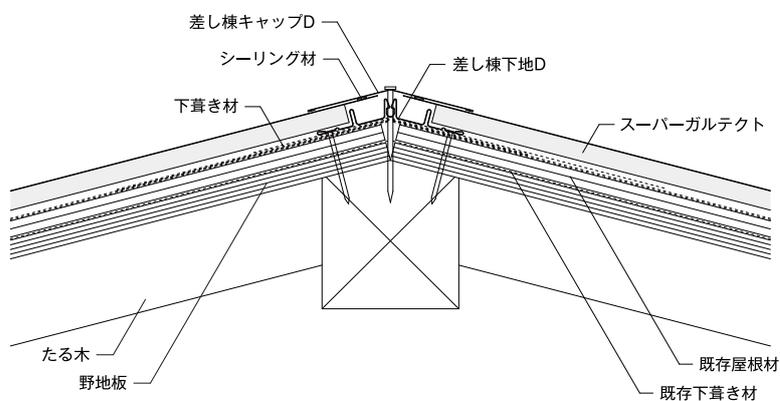
記載の納まりは代表例です。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

隅棟部

棟・隅棟包みD仕様

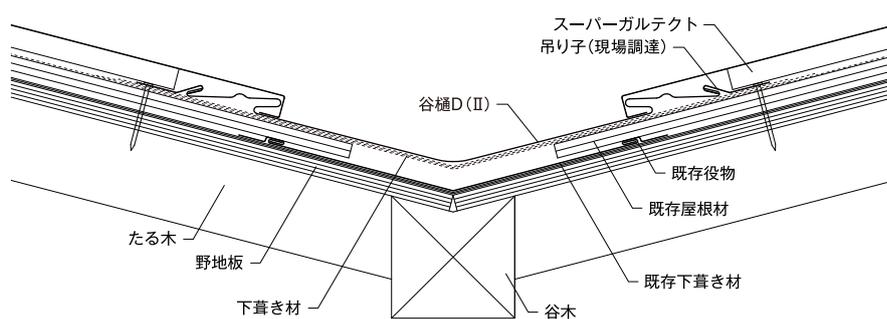


差し棟キャップD仕様

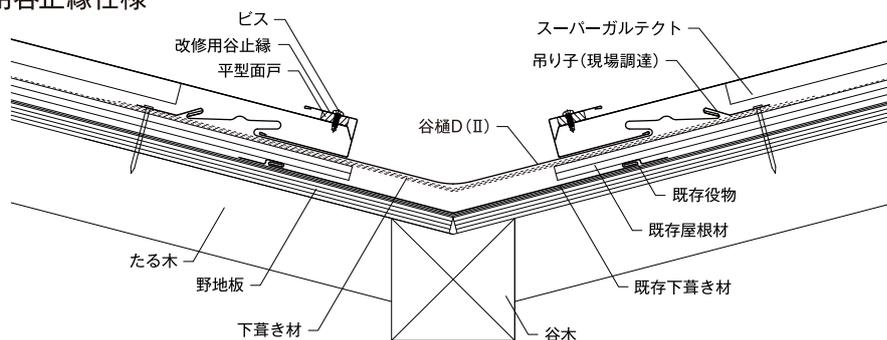


谷部

谷樋D(Ⅱ)仕様



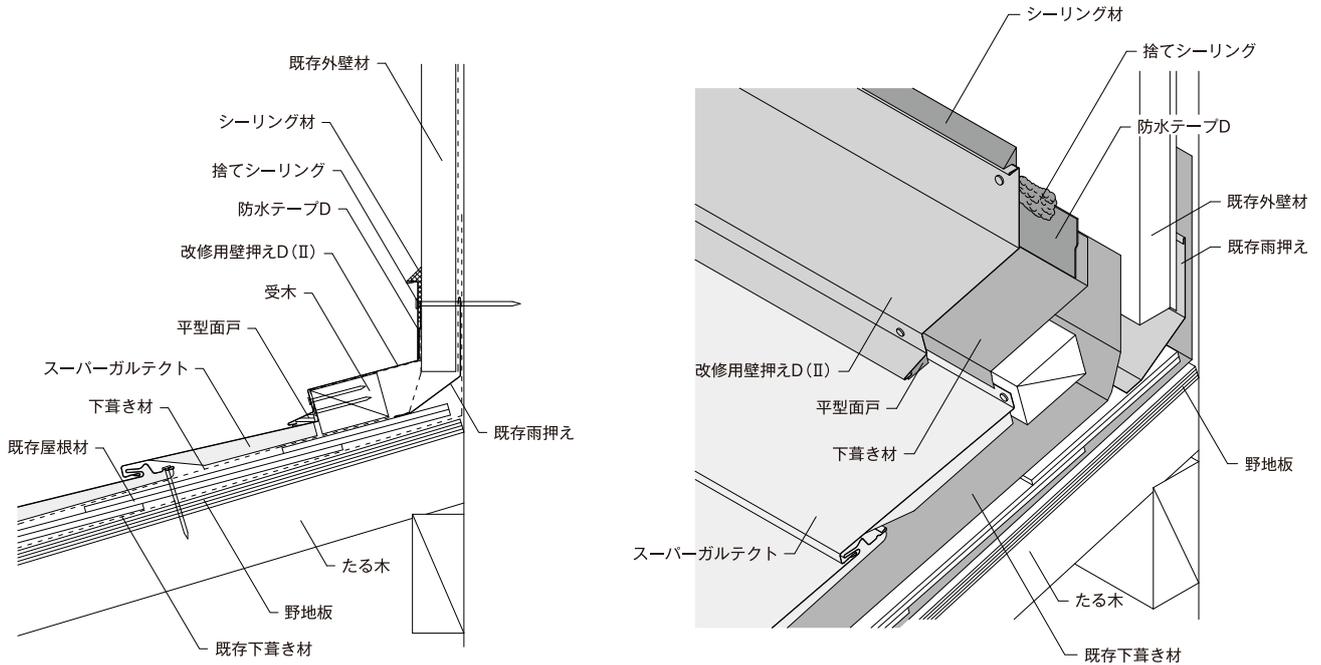
谷樋D(Ⅱ)・改修用谷止縁仕様



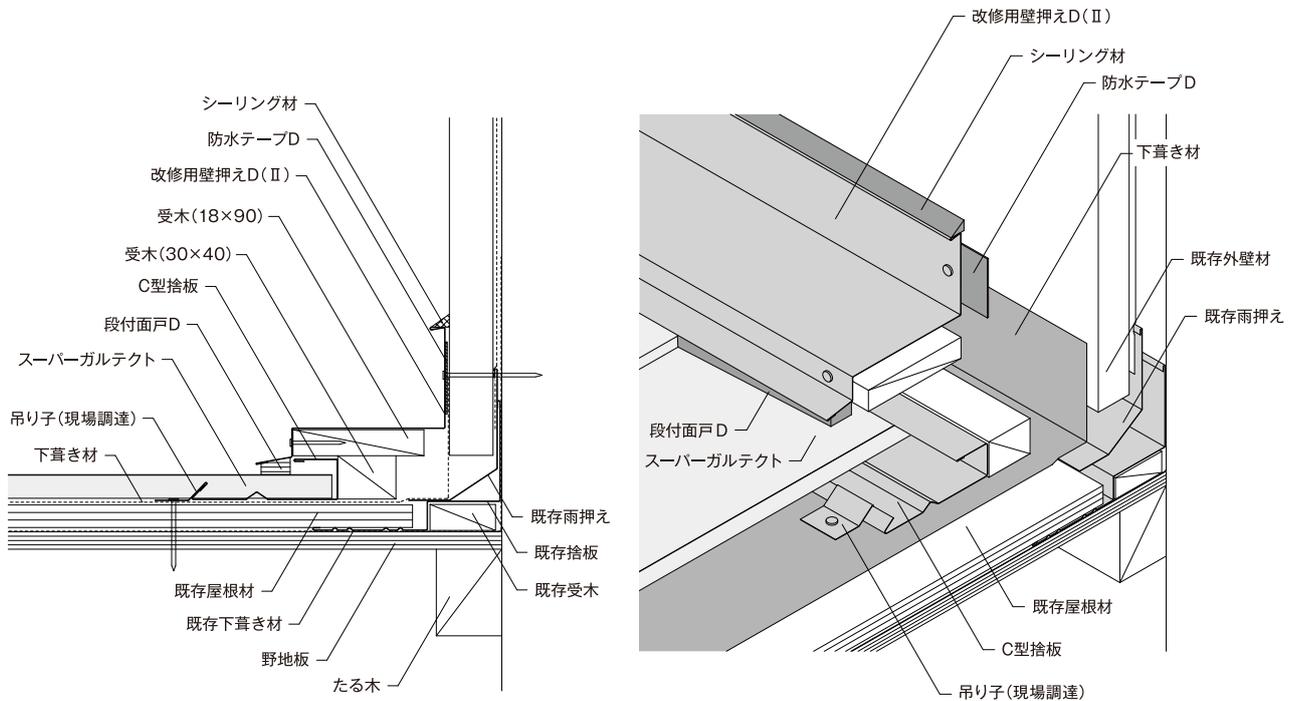
参考納まり図 改修 直張工法

記載の納まりは代表例です。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

流れと垂直な壁との取り合い



流れと平行な壁との取り合い

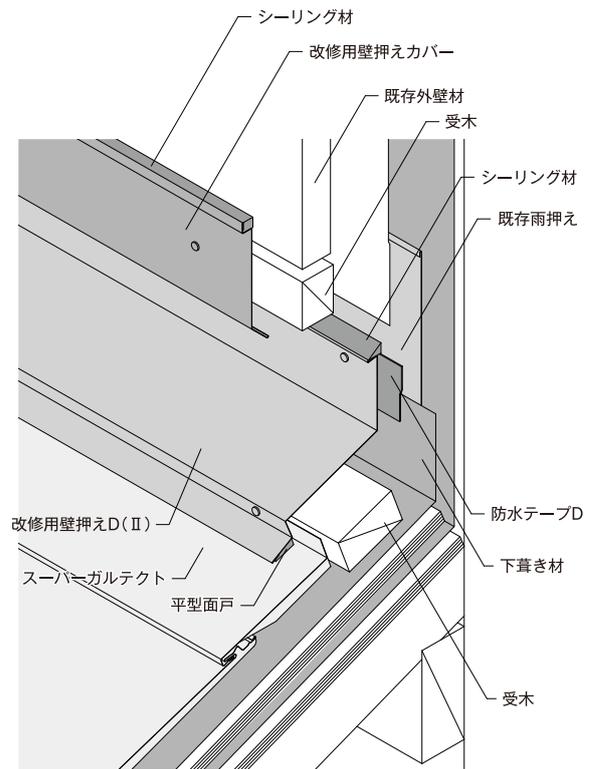
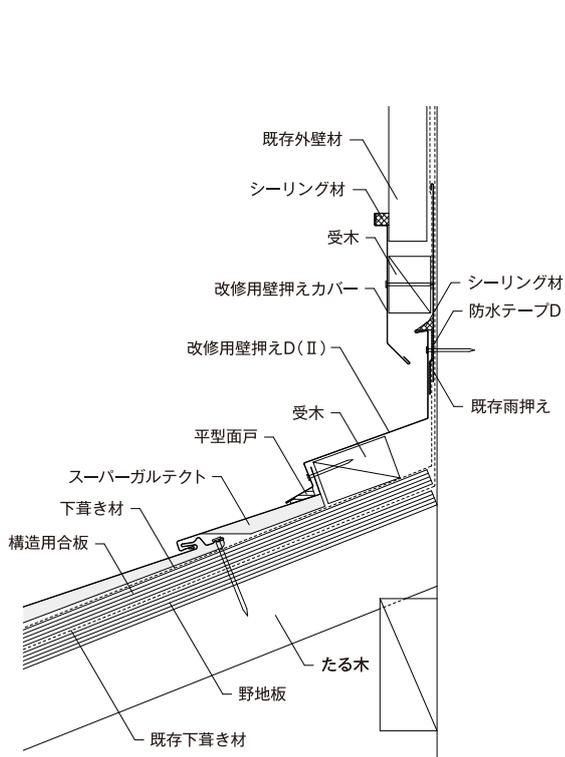


流れと垂直な壁との取り合いがある場合は、受木のサイズを合わせてください。

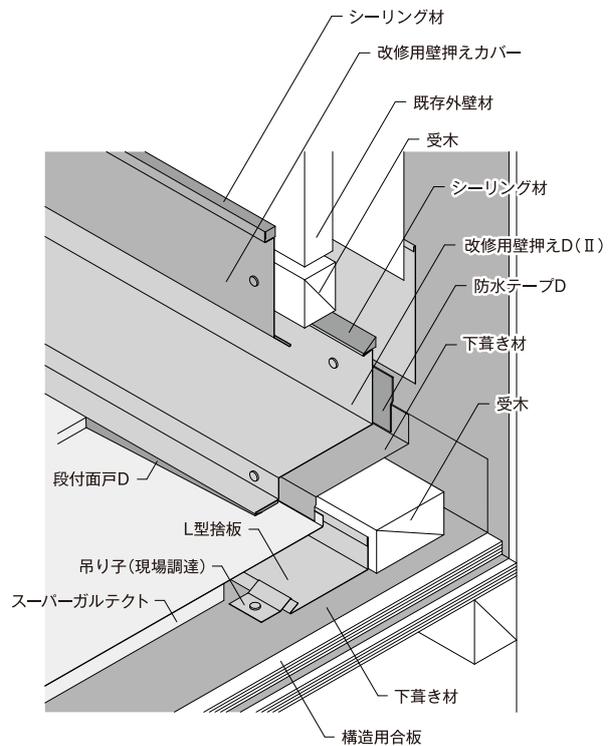
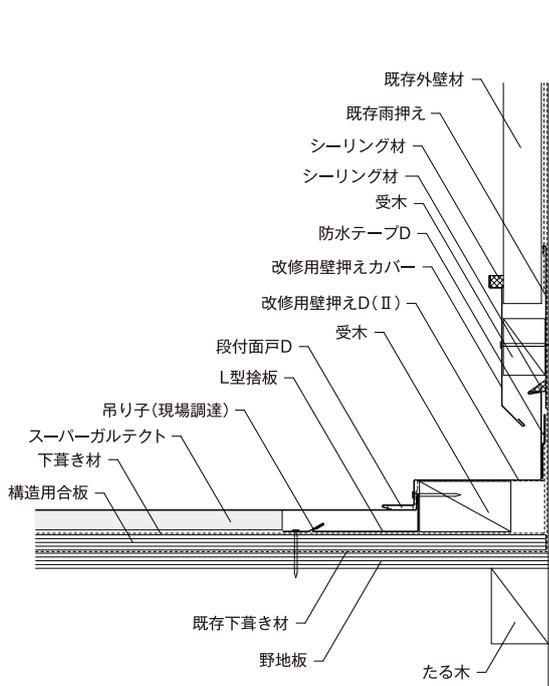
参考納まり図 改修 合板下地工法(葺き替え)

記載の納まりりは代表例です。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

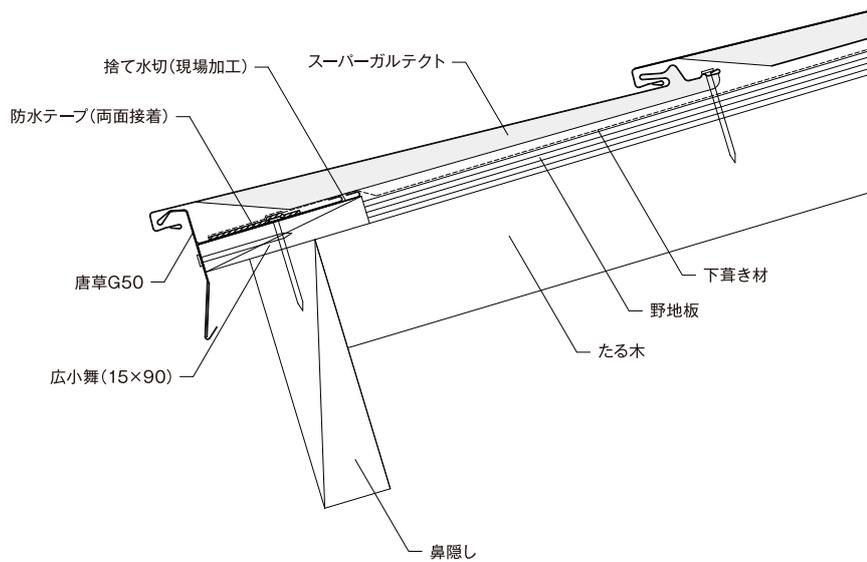
流れと垂直な壁との取り合い



流れと平行な壁との取り合い

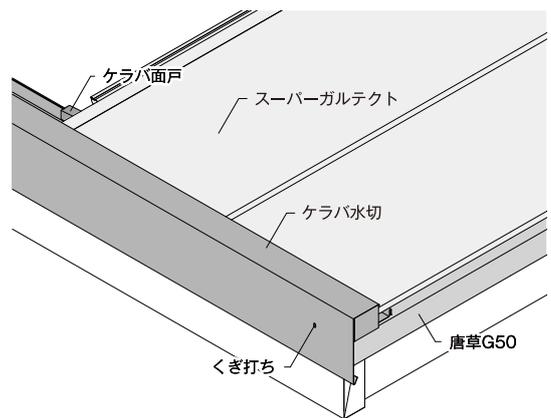
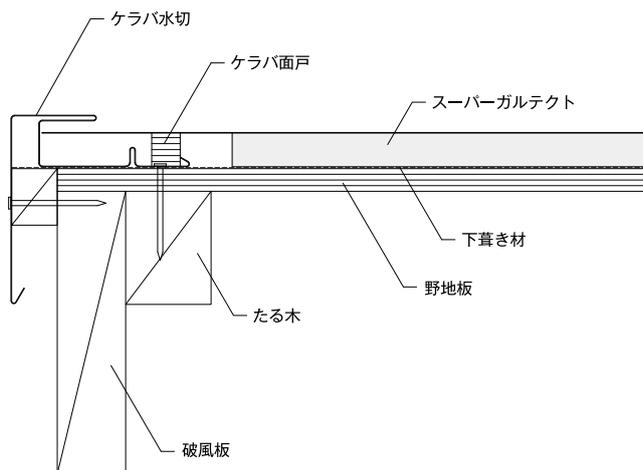


軒先部

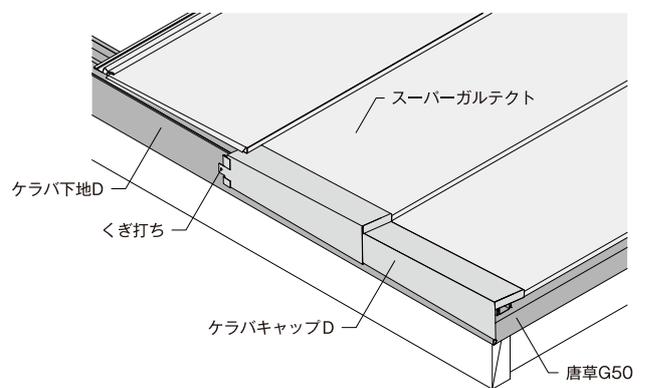
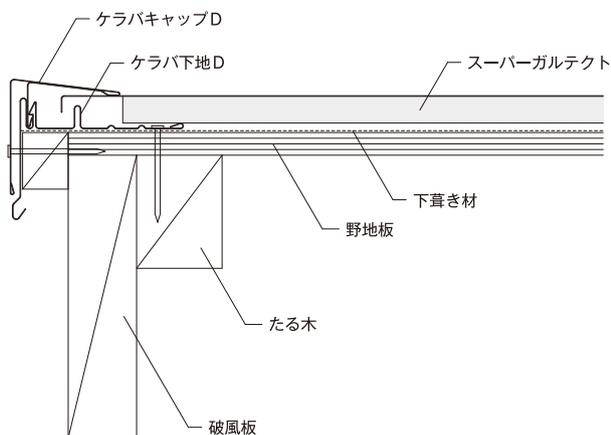


ケラバ部

ケラバ水切仕様



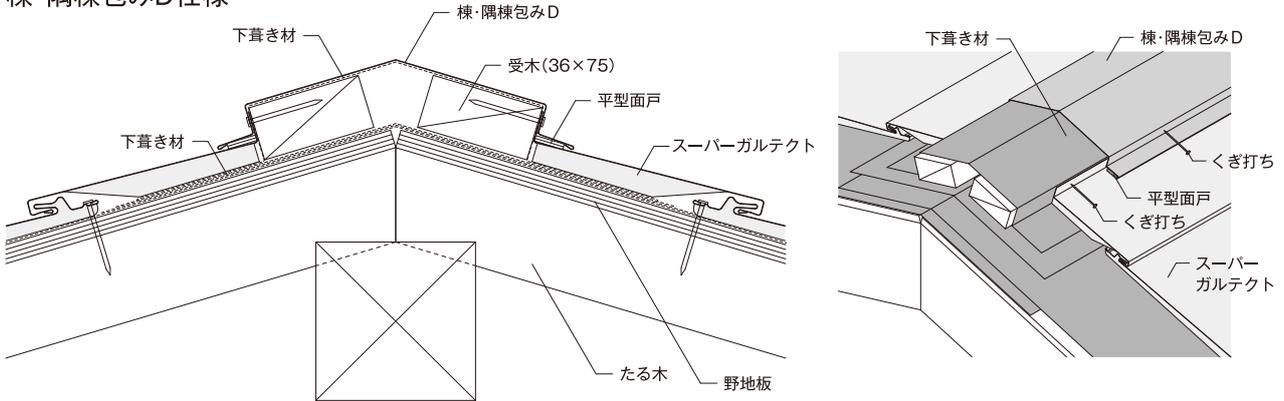
ケラバキャップD仕様



記載の納まりは代表例です。詳しくは別冊の施工説明書をご覧ください。

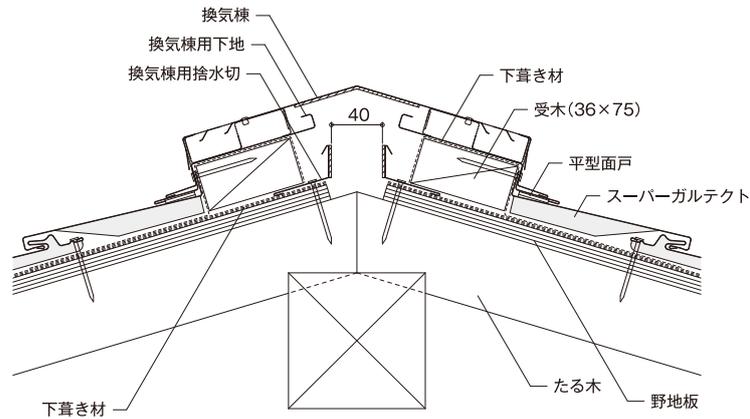
棟部（切妻・寄棟屋根形状）

棟・隅棟包みD仕様



隅棟にC型捨板を使用する場合は、受木のサイズを合わせてください。

換気棟仕様

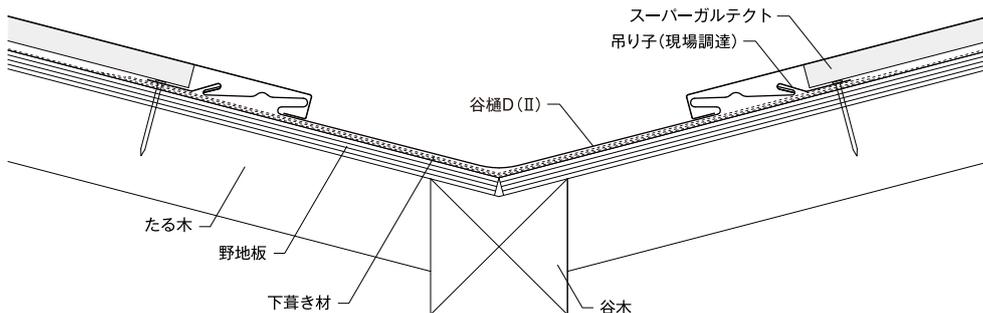


○データ

	換気棟	換気棟L
有効開口面積 (m ² /セット)	0.017	0.028
天井面積 (m ² /セット)	27.2	44.8
対応勾配(寸)	2.5~10	
働き長さ (mm)	1,050	1,750
商品長さ (mm)	1,130	1,830

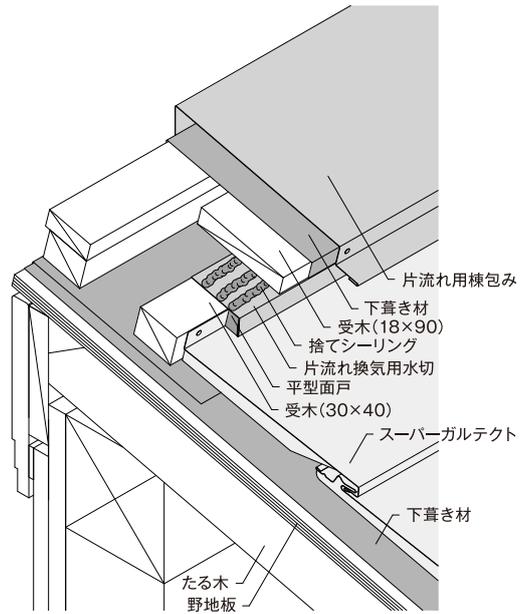
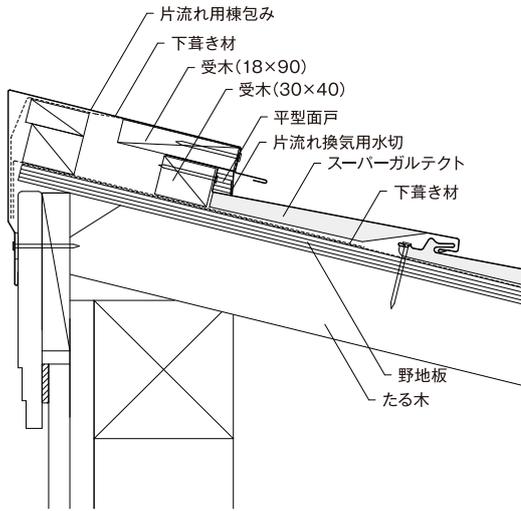
・上記天井面積は、1セットでカバーできる天井面積です。住宅金融支援機構の木造住宅工事仕様書より算出しています。

谷部

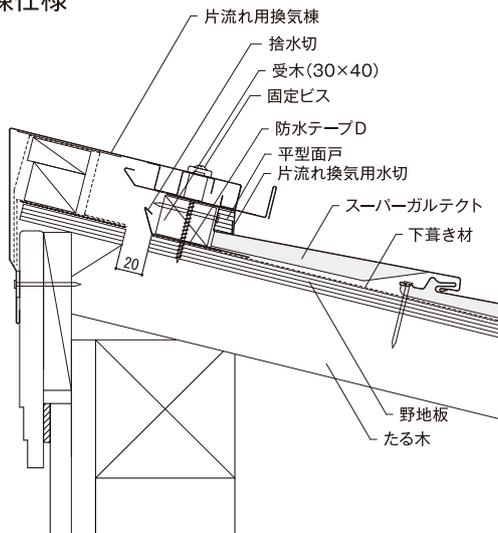


棟部 (片流れ屋根形状)

片流れ用棟包み仕様 (片流れ用換気棟併用の場合)



片流れ用換気棟仕様



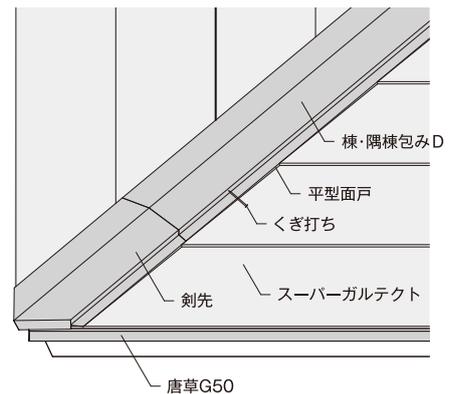
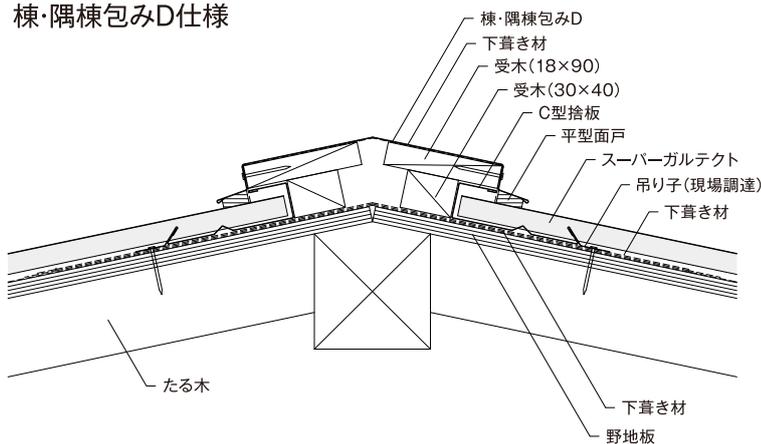
○データ

有効開口面積 (m ² /セット)	0.016
天井面積 (m ² /セット)	25.6
対応勾配 (寸)	2.5~6

・上記天井面積は、1セットでカバーできる天井面積です。住宅金融支援機構の木造住宅工事仕様書より算出しています。

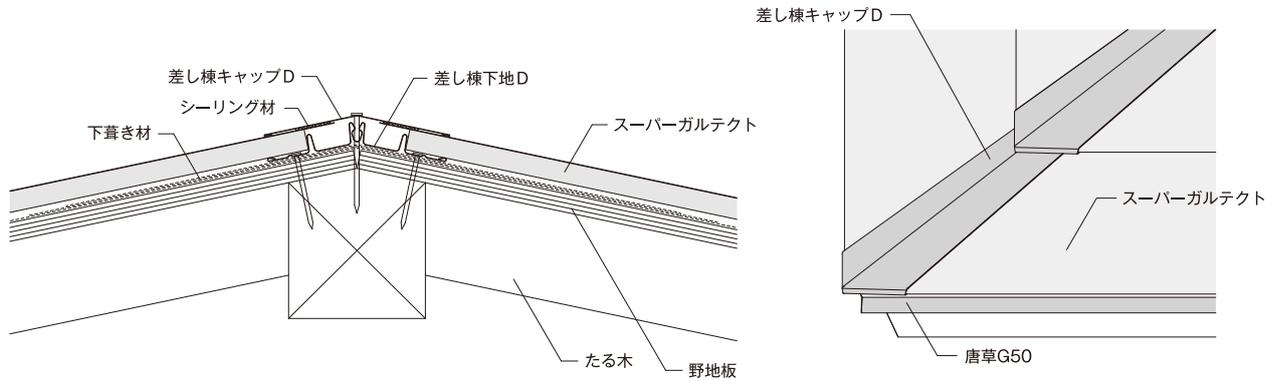
隅棟部

棟・隅棟包みD仕様

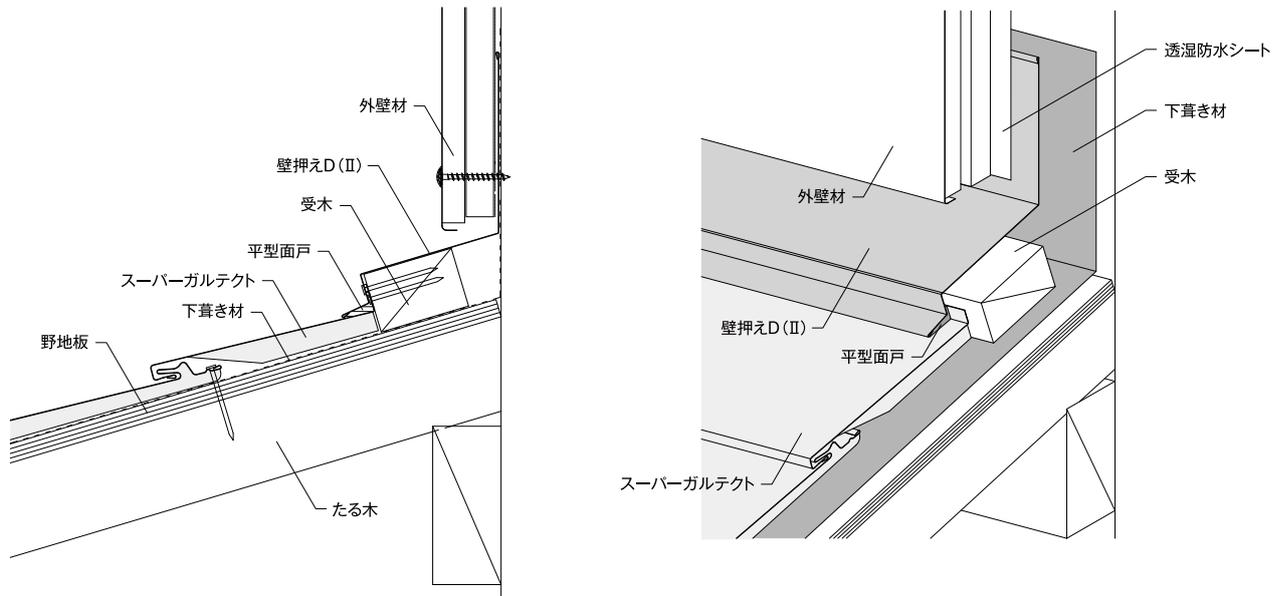


隅棟部

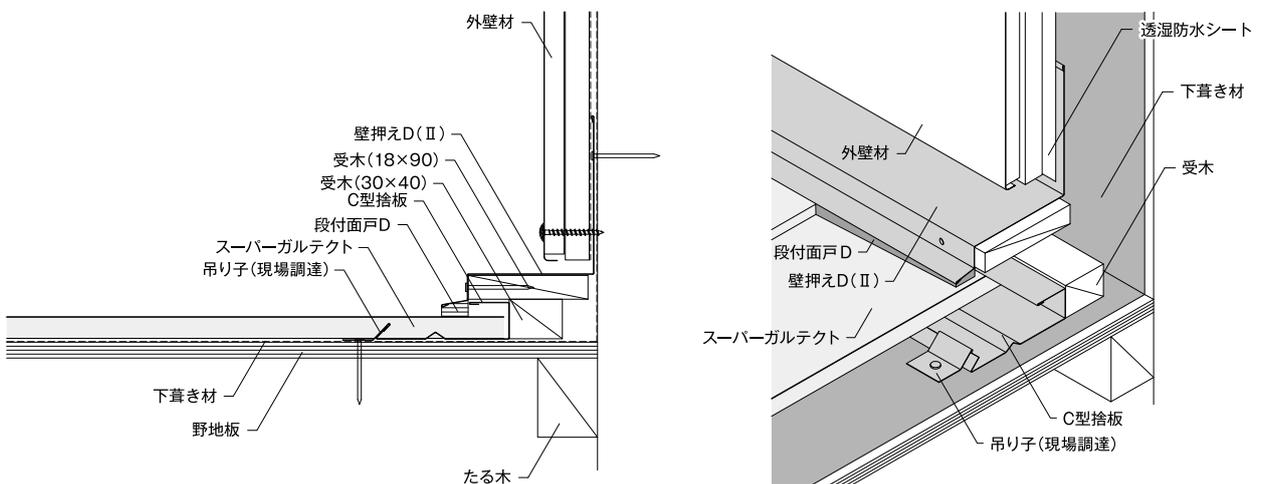
差し棟キャップD仕様



流れと垂直な壁との取り合い



流れと平行な壁との取り合い



流れと垂直な壁との取り合いがある場合は、受木のサイズを合わせてください。

取り扱い時のお願い

スーパーガルテクトは、屋根以外の部位に使用しないでください。



警告：死亡または重傷を負う可能性が想定される場合の表示です。

1. 強風・雨天・降雪時の高所作業は中止してください。風にあおられる、雨や雪ですべるなどの原因で、落下事故の可能性があります。
2. 高所作業は関係法規に従ってください。事故の可能性があります。
3. 既存の屋根用スレートの解体、破砕などを行う場合は、石綿障害予防規則に従って作業を行ってください。著しい健康障害を招く可能性があります。
4. 雪止めを足場にしたり、物を置いたりするなど、雪止め以外の用途に使用しないでください。破損し、落下するおそれがあります。
5. スーパーガルテクトは、電線に接触すると感電する可能性があります。電気配線に注意し感電防止策を講じてください。



注意：取り扱いをあやまると障害を負う危険や物的損害などの可能性が想定される場合の表示です。

●設計上の注意

本商品は木造下地専用です。

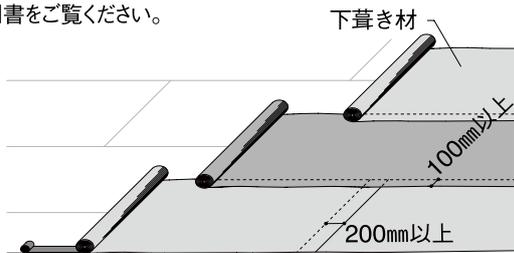
スーパーガルテクトは、2.5寸以上の勾配で使用してください。2.5寸未満の勾配では漏水のおそれがありますので使用できません。

スーパーガルテクトの勾配と流れ長さの制限

勾配	流れ長さ
2.5 ~ 3.5 寸未満	7m以下
3.5 寸以上	20m以下

新築と改修(合板下地工法)の3.5寸勾配未満の物件では、ジョイント下地の施工が全段必要となります。

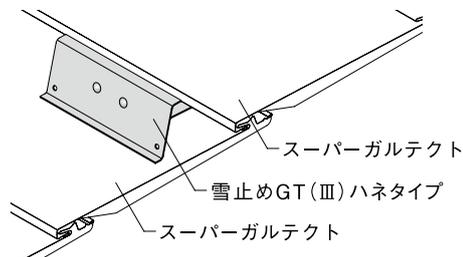
防水のため、必ず下葺き材を使用してください。詳しくは施工説明書をご覧ください。



スーパーガルテクトは、一般地域(最深積雪量の平均値がおおむね30cm以下の地域)で使用してください。積雪量の多い地域では、すがもれのおそれがあります。



落雪による事故を防止するため雪止めを使用してください。



異種金属との取り合いには注意してください。銅などの異種金属からの雨水が接触すると電食が起こる場合があります。

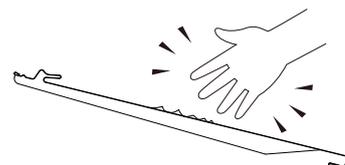
建築基準法及び関係法規に適合した設計を行ってください。

●安全作業上の注意

取扱いの際は、ゴム付き手袋や保護眼鏡などの適切な保護具を着用してください。けがをするおそれがあります。



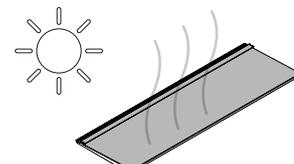
現場加工時、銅板の切断面に生じたバリは取り除いてください。けがをするおそれがあります。



溶接の炎、火花などが当たると商品を傷めたり、火災のおそれがありますので、養生するなど特に注意してください。



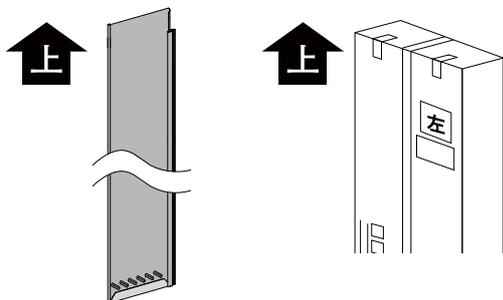
真夏の日射が強いときは、表面銅板の温度が高くなり、やけどのおそれがありますので注意してください。



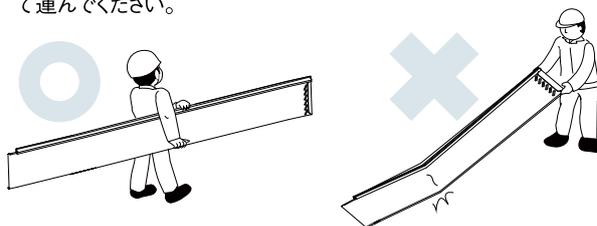
スーパーガルテクトを安全に使用・取り扱いをするために、安全データシート(SDS)を事前に確認してください。SDSは、弊社ホームページに掲載しております。

●運搬・保管上の注意

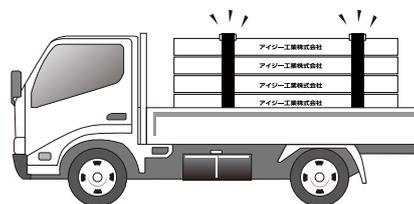
本体を立てかける場合は、端部が破損するおそれがありますので、本体の左側（断熱材がない方の端部）を上にしてください。



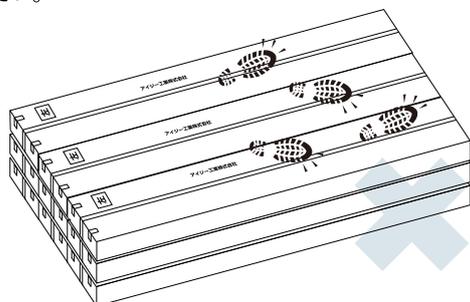
1ケースあるいは開梱した商品を手で持つ際には、小端立てにして運んでください。



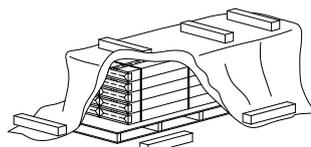
ロープの締め付けが強すぎるとスーパーガルテクトの破損につながるおそれがありますので、過度の締め付けを避けるとともに角部には当て板をいれてください。



スーパーガルテクトの上に人が乗ったり、重量物を載せたりしないでください。

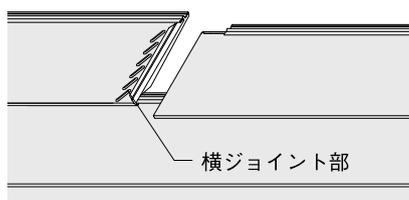


屋外に保管する際は、パレットあるいは、りん木の上に合板を重ねた水平面に置き、さらに防水シートなどで覆ってください。

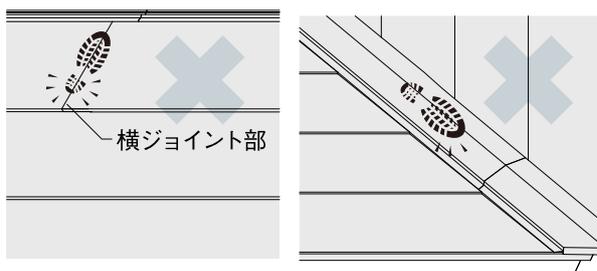


●施工上の注意

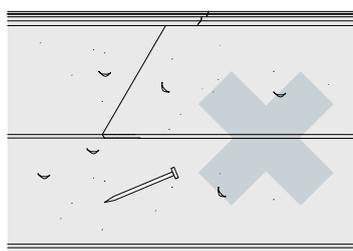
指定の張り方向以外での使用は、雨漏れの原因となります。施工は必ず左から右へ行ってください。横継ぎは必ず横ジョイント部で行ってください。ジョイント下地を使用する場合は本体横ジョイント部の下に置き、下段にひっかけて施工してください。詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。



変形するおそれがありますので、横ジョイント部や部材の上には、乗ったり重量物を置いたりしないでください。



切粉や切り屑、くぎなどは、放置するともらいさびや汚れの原因となりますので、完全に取り除いてください。



防水のため、施工の際は働き幅による割り付けを行ってください。

モルタルなどが付着した場合は、速やかに除去してください。

新築でケラバ水切を使用する物件では、防水のため、必ずケラバ面戸を使用してください。

取り扱い時のお願い

●補修上の注意

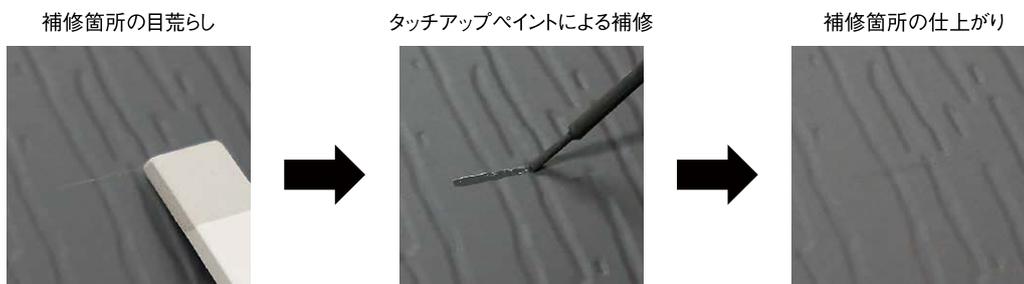
- タッチアップペイント(純正品)による補修について
タッチアップペイントは、ごく狭い範囲の軽微なキズの補修に使用します。
本体や部材の変形を伴うキズや広範囲にわたる塗装には使用しないでください。



(1) 補修手順

- ① 補修箇所汚れ、ほこり、水分などがある場合は、布などで拭き取ってください。
- ② 遮熱性フッ素樹脂塗装ガルバ鋼板の商品にタッチアップペイントを使用する場合は、密着性を高めるために砂消しゴムなどで補修する箇所の目荒しを行ってください。
- ③ タッチアップペイントは使用前に容器を振り十分に攪拌してください。容器を振る目安は、カタカタという音が聞こえてから30秒以上です。
- ④ 商品の端材や目立たない箇所で試し塗りをを行い、色調を確認してください。
- ⑤ 補修する箇所にタッチアップペイントを薄く重ね塗りしてください。補修箇所は塗料の性質上、色調に差異が生じる場合がありますので、できるだけ丁寧な取扱いをお願いします。

補修例(スーパーガルテクトフッ素 SFブラック)



(2) 注意事項

- ・タッチアップペイントは常乾タイプの塗料で、本体、部材と塗料タイプが異なります。このため、色調や艶などに差異が発生し補修箇所が目立つことがあります。
- ・ちぢみ塗装品(スーパーガルテクト、スーパーガルテクトC)は表面意匠の特性より、補修後も同じような意匠を再現することはできません。あらかじめご了承ください。
- ・塗装場所の気温が著しく低い場合(5℃以下)や、雨や露などにより被塗面が濡れる場合や、換気が十分でなく結露が考えられる場合は、補修を避けてください。
- ・補修した部分に水が関与すると白化や、艶の低下の原因になりますので、作業の際は以下の注意事項をご確認ください。
 - ① 塗装後、降雨、積雪、結露が予想される場合や高湿度時の塗装は避けてください。
 - ② 気温が低くなると乾燥が極端にしにくくなります。夕方までに表面が乾くように作業時間を調整してください。急ぎ作業の際は、ドライヤーなどで補修部分を完全に乾燥させてください。

■ アルミライナー紙の補修について

- ・尖った物などでアルミライナー紙が損傷した場合は、必要に応じて市販のアルミテープなどで補修してください。

●その他

- ・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合などからまれに音が発生する場合があります。
- ・小屋裏にテレビアンテナを設置している場合、金属屋根の施工でテレビの「映像が乱れる」「映らない」といった受信障害が出る可能性があります。テレビの受信状況の確認やテレビアンテナの対策作業を行ってください。

免責事項 次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- ・施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
- ・天変地異・周囲環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
- ・通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
- ・建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
- ・シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
- ・本体及び部材に付着した切粉・加工屑・落ち葉・動物の排出物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
- ・水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- ・くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビによる汚染などが生じた場合。
- ・建築基準法及び関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- ・本来の目的以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。

その他ご不明な点などあれば弊社にご相談ください。

維持管理について

維持管理の目的

住宅のロングライフ実現に向けて適切なメンテナンスが必要です。

大気中にはスーパーガルテクト表面基材の腐食の原因になるさまざまな要因が含まれています。自動車の排気ガス、工場からの排煙、海岸地帯の海塩粒子、凍結防止剤など、多種多様な要因があります。

近年、環境公害のひとつとして酸性雨問題があります。酸性度の強い水分との接触や付着水分の蒸発、濃縮により表面塗膜の耐久性の低下やさびの発生に至る場合があります。

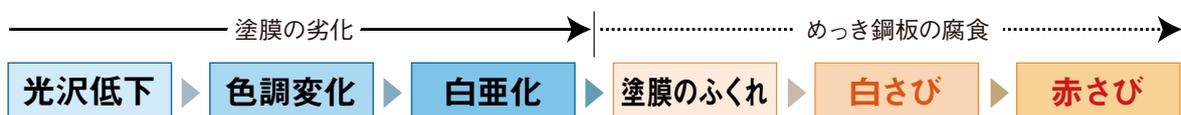
これらの他に、屋根材は日頃から紫外線にさらされているため、さらに過酷な環境におかれています。

住宅の長寿命化を実現するためのひとつとして、スーパーガルテクトの適切なメンテナンスが重要であり、性能を維持するために定期的な維持管理をお勧めします。

塗膜の耐久性について

塗膜は、太陽光線、雨(水)、大気中の酸素、耐食性因子(塩素イオン、酸性イオンなど)により劣化します。その過程において塗膜の白亜化が発生します。白亜化(チョーキング)とは、塗膜表面の樹脂が無くなり顔料が表面に粉状に現れ、触ると手に粉が付く現象をいいます。

白亜化の後に、めっき鋼板の腐食が始まります。劣化の経時変化は以下のように進みます。



めっき鋼板の腐食が始まる前のメンテナンスが重要です。
このタイミングでの再塗装をお勧めします。



安全に関するご注意

- ・お施主様ご自身で高所作業を伴う点検やお手入れは絶対に行わないでください。落下事故やけがの原因となります。
- ・点検は屋根を目視で確認できる範囲にとどめてください。高所作業(お手入れなど)の場合は専門業者様にご相談ください。
- ・再塗装などの補修工事はお施主様ご自身では絶対に行わないでください。専門業者様にご相談ください。
- ・雨などで濡れた屋根の上には絶対に乗らないでください。落下事故やけがの原因となります。

メンテナンススケジュール(モデルケース)

		施工後年数					
		5年	10年	15年	20年	25年	30年～
1.日常点検		年1回程度					
2.定期点検		■	■	■	■	■	■
メンテナンス	スーパーガルテクトフッ素				■	■	■
	スーパーガルテクト ^{※1}			■	■	■	■
	スーパーガルテクトC ^{※1}			■	■	■	■
シーリング			■	■	■	■	■

■…塗り替え^{※1} ■…張り替え^{※2} ■…部分補修・打ち替え

※1: 塗り替え塗装した場合は、ちぢみ塗装は再現できません。

※2: 張り替え時期については、専門業者様に建物全体の躯体状況を確認の上、総合的に判断してください。

・塗り替えは、表面状態を確認の上で判断してください。変色が著しく、白亜化が現れた状態が塗り替え時期とみなせません。

注意

- ・メンテナンススケジュールは目安として活用してください。住宅の地域や環境により表面劣化の進行状況が異なります。
- ・メンテナンス時期を保証するものではありません。

メンテナンス

屋根を美しく保つために、付着した汚れは落としてください。

スーパーガルテクトは、めっき鋼板の中でも耐久性に優れた超高耐久ガルバ^{※3}を使用しております。

しかしながら、汚染物質の長期付着により数年で表面にシミや白さび・黒さびが発生した例が報告されております。これらの現象は屋根材の機能上支障をきたすものではありませんが、外観が損なわれるため表面塗装の塗り替え時期を早めてしまいます。屋根表面に付着している大半の汚染物質は水洗いで落とすことができますので、クリーニングを行う事で美しい外観を長期間保つことが可能となります。

※3: 2%マグネシウム-55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板

クリーニング方法

- 1 屋根材に鋼板の切粉、切り屑、くぎなどを放置するともらいさびの原因となりますので完全に取除いてください。
- 2 屋根面に落ち葉や粉塵などが堆積した場合は、水洗いにより落としてください。



中性洗剤



シンナー

【注意事項】

- ・強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗装を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどの有機溶剤は塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・高圧洗浄機などは、屋根材の変形、漏水の原因となりますので使用しないでください。

維持管理について

日常点検

目視にて確認できる範囲で年1回程度を目安にお施主様ご自身で行ってください。

本体の点検

商品本体にキズ、へこみ、浮きなどがないか目視で点検してください。

部材の点検

部材にキズ、へこみ、浮きなどがないか目視で点検してください。

塗膜の点検

塗装表面に白亜化、変色、さびなどが発生していないか目視で点検してください。

シーリングの点検

シーリングに剥離、亀裂などが発生していないか目視で点検してください。

- ・地震や台風の後には随時屋根材の点検をしてください。
- ・気になる不具合を発見した場合は、早めに専門業者様に相談してください。(費用はお施主様負担となります)

定期点検

5年に1回を目安に専門業者様による点検を実施するようお願いします。
(費用はお施主様負担となります)

点検項目は、日常点検の項目を基本としたものになります。

本体、部材にキズ、へこみ、浮きを確認した場合

補修または交換を行ってください。

変色、褪色を確認した場合

屋根材としての機能上支障はありませんが、美観の向上を図るためには再塗装を行ってください。

白さび、黒さびの発生を確認した場合

さびの部分を取り除いてから再塗装してください。さびを放置しますと、さびが進行してできた穴より雨水が浸入し、雨漏りの原因となります。

シーリングに剥離、亀裂を確認した場合

シーリングの部分補修または打ち替えを行ってください。そのまま放置しますと、隙間より雨水が浸入し、雨漏りの原因となります。

次のような場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- ・施工店様による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者の維持管理の不注意・装置の取り付け・改修・改築により不具合が生じた場合。
- ・所有者、入居者、管理者または第三者の故意・過失などにより不具合が生じた場合。
- ・天変地異・周囲環境・大気汚染・塩害などの特殊環境下で不具合が生じた場合。
- ・通常の経年変化による変色・汚れなどが生じた場合。
- ・建物の構造体に起因した変形・変位が原因で不具合が生じた場合。
- ・シーリング部及び、現場塗装により不具合が生じた場合。
- ・本体及び部材に付着した切粉・加工屑・落ち葉・動物の排泄物・粉塵などが原因で不具合が生じた場合。
- ・水が滞留する部分の塗膜損傷及び電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- ・くぎ部のさびまたはもらいさび、及びカビによる汚染などが生じた場合。
- ・建築基準法及び関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- ・本来の目的以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。

【お得意様へのお願い】

お施主様に商品をより安全に正しくご使用いただくために、「維持管理について」のページをコピーしてお渡しく下さい。

太陽光パネルの設置

2つの工法で、スーパーガルテクトに太陽光パネルの設置が可能です。

太陽光パネルを設置する場合、スーパーガルテクトを施工する際の設置基準を別途定めています。

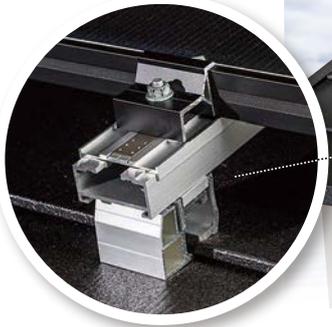
下記2つの工法は、屋根の施工と太陽光パネルの設置を同時に行う場合のみ、対応している工法です。

詳しくは、それぞれの工法のお問い合わせ先にご相談ください。

G-ホールド工法

〈対応物件〉

- ・新築
- ・リフォーム(カバー工法)
- ・リフォーム(既存屋根撤去)



アルミ製つかみ金具で屋根面にキズがつきにくい安心施工です。

- 対応メーカー「カナディアンソーラー」「シャープ」「長州産業」「東芝」「パナソニック」「ハンファQセルズ」「三菱電機」
他の太陽光パネルメーカー様については、下記にお問い合わせください。
屋根本体をビスで留め付けた後は、ビス頭にシーリングを施工してください。

お問い合わせ先 高島株式会社 建材ソリューション事業本部 東日本統括部
TEL: 03-5217-7396(代表) FAX: 03-5217-7238

SmaCIS工法

〈対応物件〉

- ・新築
- ・リフォーム(既存屋根撤去)



つかみ金具で固定する、屋根面に穴をあけない安心施工です。

- 対応メーカー「ソーラーフロンティア」
太陽光パネルの取り付けにあたっては「ソーラーフロンティア株式会社」の施工研修に参加していただき、施工IDの取得が必要です。

お問い合わせ先 ソーラーフロンティア株式会社 ☎ 0120-55-8983



アイジー工業株式会社

本 社	〒999-3716	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	TEL. 0237-43-1810	FAX. 0237-41-1810
東京営業所	〒101-0065	東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル6F	TEL. 03-3556-0341	FAX. 03-3556-0342
札幌営業所	〒003-0026	北海道札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F	TEL. 011-863-0303	FAX. 011-860-2084
盛岡営業所	〒020-0022	岩手県盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F	TEL. 019-605-8050	FAX. 019-605-8051
仙台営業所	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12 L.Biz仙台5F	TEL. 022-292-5405	FAX. 022-292-5406
北関東営業所	〒330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-150-1 カネゲンビル6F	TEL. 048-658-1600	FAX. 048-658-1602
新潟営業所	〒950-0912	新潟県新潟市中央区南笹口1-1-54 日生南笹口ビル6F	TEL. 025-240-6718	FAX. 025-240-6719
富山営業所	〒930-0004	富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F	TEL. 076-443-8621	FAX. 076-443-8622
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24 綿常第5ビル4F	TEL. 052-218-7885	FAX. 052-218-7886
大阪営業所	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町9-1 ビーロッド江坂ビル11F	TEL. 06-6310-9076	FAX. 06-6310-9077
福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F	TEL. 092-474-5564	FAX. 092-474-5574

このカタログに掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。
商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

www.igkogyo.co.jp

